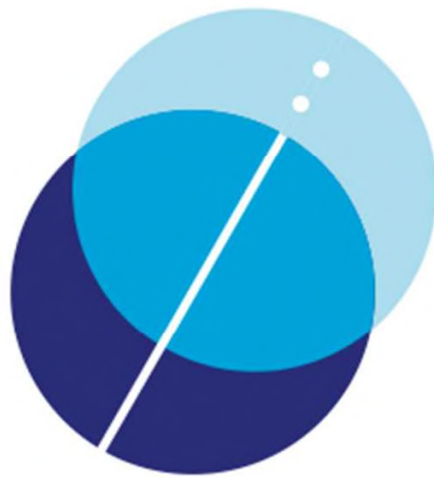


令和5年度

飯田 OIDE 長姫

Topics



長野県飯田OIDE長姫高等学校
Iida OIDE Osahime High School

高校野球春季大会 南信予選 2 回戦へ

2023年(令和5年) 5月2日 火曜日

南 信 州 新 聞



連合チームを下して初戦を突破する松川

高校野球

○長、松川が2回戦へ

南信地区予選が開幕

第148回春季北信越高校野球県大会南信地区予選は4月29日開幕し、30日までの2日間で1、2回戦7試合を行った。飯伊勢はOIDE

E長姫と松川が2回戦進出を決め、風越と阿智・阿南・蘇南が敗れた。

OIDE長姫は7-12で高遠を退け、松川は7-0の七回

で諏訪清陵に五回コールド負けした。

2回戦で、松川は上伊那農と対戦し、OIDE長姫は諏訪実―東海大諏訪の勝者と戦う。

▽1回戦
風越
0102200016
014011022×9

駒ヶ根工
(風越)近藤―山上
(駒工)気賀沢、小出、桑沢―桑沢、伊藤大

▽③土屋(風)
▽②近藤(風)桑沢(駒)

飯伊選手権大会
飯伊高校バスケ
トボール選手権大会
が29日、飯田市上郷
体育館など開かれ、
男女とも風越が優勝
した。



▽男子 ①風越②
飯田③OIDE長姫
▽女子 ①風越②
OIDE長姫③下伊
那農

高校野球



OIDE長姫
0000310217
01001000027

高遠
(O長)北原、松下
―熊谷
(高遠)唐沢、千葉
―竹内
▽②井原、河野、小
川(○)

バスケット 飯伊大会成績

掲載記事提供: (株)南信州新聞社



ラグビー部 7人制で全国へ

2023年(令和5年) 5月4日 木曜日 南信州新聞

県制し初の全国大会へ

7人制 大会 O長高校ラグビー部

飯田OIDE長姫高校ラグビー部は、4月に開催された「第10回全国高校7人制ラグビーフットボール大会長野県予選」で優勝を果たし、初の全国大会に出場する。県予選では最後まで諦めないチーム力を武器に激戦を勝ち抜き、勢いそのままに7月に菅平高原で開かれる大会に挑む。

中村光希顧問(32)が着任した2017年の部員は7人だった同校ラグビー部。学校生活の見直しや練習環境の整備、食生活の改善などに取り組み、強豪校とも張り合えるチームを目指してきた。現在の部員は県内最多の41人で、学年の垣根なく日々の練習に打ち込んでいる。

昨年度の全国高校ラグビー大会県予選では48年ぶりに決勝に進出したが、悔しくも準優勝に終わった。初の県制覇を目指して挑んだ今大会は初戦から前回優勝校の岡谷工業との組み合わせだったが、残り30秒で逆転し19-17で勝利。続く東海大塩尻との準決勝では24-22で接戦を制した。

決勝では伊那北と対戦。試合開始から自分たちのプレーができず、14点ビハインドで前半を折り返した。「前半のことは忘れよう」とチームメイトで声を掛け合い、逆転を誓って挑んだ後半では怒濤の攻撃を展開。相手を無得点に抑えながら21点を奪取し、26-19で下した。

3年の野牧聖太(17)は「これまで負け続けて勝ちたかったという思いが強かった分、優勝できて本当にうれしい。全国大会では県の代表として思い切ったプレーしたい」と意気込んでいる。

練習では、中村顧問と交流のある県外のコーチやOB会が積極的に協力してくれているといい、中村顧問は「やってきたことを出し切ってもらって応援してくれている方々に恩返ししたい」と話している。



県大会で優勝したO長ラグビー部

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

電子機械工学科 3 年生

学習成果を発表

2023年(令和5年) 5月11日 木曜日

南 信 州 新 聞

OIDE
長 姫 高

2年間の学習成果発表



自作のロボットカーで競う

電子機械工学科

飯田OIDE長
姫高校電子機械工
学科3年生37人に
よるマイコンカー
グランプリ(MC
I-GP)が10日、同校であ
った。機械技術、電気電子
技術、制御(情報)技術を
系統的に学んだ成果を発表
する機会。1、2年生や保
護者らが見守る中、製作・

調整を重ねたマシンでタイ
ムを競い合った。
白線をセンサーで認識
し、左右のタイヤの速度を
変えて進行方向を制御しな
がら自動走行する完全自走
式ロボットで競う大会。同
科独自の取り組みとして2
019年に始まり5回目を
迎えた。昨年は新型コロナウイルス
の流行で外部の観覧を入れ

ずに行ったが、今回は2年
ぶりに通常開催となった。
生徒は1年生の時から
授業で基盤製作、車体設
計、プログラミングなどの
学習を重ねてきた。車体は
CADで設計し3Dプリン
ターで出力。速度を重視し
軽量化を目指したものか
ら、安定性を重視した大型
のものまで幅広い車体が登
場した。

大会は生徒自身が運
営。動画や参加選手のイ
ンタビューを交えて大会
を盛り上げ、好タイムが
記録されると会場は拍手
に包まれた。

予選タイムの上位8人
による決勝トーナメント
で上位3人を表彰した
他、ベストタイム賞、投
票によるベストデザイン
賞などを設けた。

実行委員長を務めた牛
島羽琉さん(17)は「プ
ログラムの調整が苦
労した。連休中も学校に
来て夜遅くまで調整した
選手が好タイムを出し
た。やった分だけ成果が
出る。実行委員として
は、無事に開催でき、盛
り上がってくれて良かった」と話した。

ずに行ったが、今回は2年
ぶりに通常開催となった。
生徒は1年生の時から
授業で基盤製作、車体設
計、プログラミングなどの
学習を重ねてきた。車体は
CADで設計し3Dプリン
ターで出力。速度を重視し
軽量化を目指したものか
ら、安定性を重視した大型
のものまで幅広い車体が登
場した。

マイコンカーグランプリ

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

2023年(令和5年) 5月17日 水曜日

南 信 州 新 聞

南信高校総体

剣道女子団体で飯田V

卓球団体は飯女優勝

南信高校総体は12、14日、各地で開かれ、うち剣道の女子団体は飯田が制した。卓球の女子団体は飯田女子が優勝。バレーボール女子は飯田が2位に入り、男子は阿智が3位で県大会出場を決めた。

弓道

弓道は13、14日、飯田市の県営飯田弓道場で、男女別の団体と個人で競った。男女とも団体の上位9校と個人の上位9人が県大会(6月3、4日・長野運動公園弓道場)へ進む。

▽団体(40射) ①伊那西23中④飯田女子⑥飯田⑦OIDE長姫

▽個人(8射) ①務谷保乃夏(岡谷南) ⑦中③今村天音(阿智) ⑨川中島鈴音(O長)

登山

登山大会は12、13日に茅野市の硫黄岳一帯で行われた。

▽男子 ①OIDE長姫A(市瀬陽大、代田大晴、小林浩哉) ②飯田A、下伊那農B

▽女子 ①下伊那農(清水野乃穂、丸山琴音) ②OIDE長姫

剣道

▽団体(40射) ①小原晴斗(高遠皆中) ③松下大和(O長) ④広瀬真和(下農) ⑤杉山蒼空(阿智)

卓球

卓球は12、13日、エレクトロニックアリーナで開いた。男女とも団体の8位までとシングルの上位16入、ダブルスの上位12組が県大会(6月2、4日・岡谷市民総合体育館)に出場する。

▽同順位 ①東海大諏訪②OIDE長姫④風越⑤飯田

▽男子 ①下岡連(飯田) ⑥菅沼幸太(飯田) ⑧佐々木朗(下農) ⑨佐々木颯汰(O長)

▽女子 ①朝山愛夢(下農) ④佐々木舞香(O長) ⑤村下祐香(飯田) ⑦村松李香(同)

バスケットボール

バスケットボールは12、14日に行われ、男女とも東海大諏訪が優勝した。男女とも8位までが県大会(6月2、4日・上田市など)に出場する。

▽男子決勝 東海大諏訪181-48 OIDE長姫

▽女子決勝 畑佳代・戸枝未結組(赤穂) ⑤田切夕葵・吉沢緩奈組(OIDE長姫)

▽男子決勝 東海大諏訪181-48 OIDE長姫

長) ⑧下枝愛希・西尾向日葵(同)

卓球は12、13日、エレクトロニックアリーナで開いた。男女とも団体の8位までとシングルの上位16入、ダブルスの上位12組が県大会(6月2、4日・岡谷市民総合体育館)に出場する。

テニス

テニスは11、13日、伊那市センターテニスコートであった。男女とも団体の4位までとシングルの上位8人、ダブルスの上位8組が県大会(6月1、4日・長野市)に出場する。

▽男子 ①伊那北②風越④飯田⑥OIDE長姫

▽女子 ①上田達也(伊那北) ②木下裕也(O長)

バドミントン

男子学校対抗 伊藤友哉 金田陽翔 村松燈弥 二村恵伍

男子ダブルス・シングルス:ベスト8 男子ダブルス:ベスト8 男子ダブルス:ベスト8 男子ダブルス:ベスト8

男子個人ダブルス 前沢・後澤、是則・森本、後藤・小林 ベスト16

注) 掲載記録は、本校関係部門のみに削減して転載してあります

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

南信総体入賞者まとめ 1

(上記転載記事外も含む)

バスケット

- 男子団体 2位
男子団体(林,伊本,平澤,島崎,井口) 1位
林 耕平 男子シングルス 2位 ダブルス 3位
島崎晃太 男子シングルス 6位 ダブルス 3位
伊本光希 男子ダブルス 4位
井口結斗 男子ダブルス 4位
女子団体(吉澤,田切,下枝,塩澤,西尾) 4位
田切夕葵 女子ダブルス 5位
吉沢緩奈 女子ダブルス 5位
下枝愛希 女子ダブルス 8位
西尾向日葵 女子ダブルス 8位

登山

- 男OIDE長姫A(市瀬,代田,小林) 1位
男OIDE長姫B(野口,鎌倉,増田) 4位
男OIDE長姫D(知久,塩澤,熊谷) 4位
女OIDE長姫(小池美緒) 2位

ソフトテニス

- 男子団体 3位
男子個人ダブルス 前沢・後澤、是則・森本、後藤・小林 ベスト16

剣道

- 佐々木颯汰 男子個人8位
佐々木舞香 女子個人4位

空手

- 女子団体組手 3位
熊崎裕介
熊谷大聖
吉澤紗穂
女子団体形 2位
男子個人形3位
男子個人組手3位
女子個人組手2位,形3位

柔道

- 秋元真之介 男子 90kg 級2位
所澤悠良 男子 60kg 級5位
下原梨奈 女子 57kg 級1位

卓球

- 男子学校対抗 6位
木下裕也 男子シングルス2位
田中朔斗 男子シングルス9位
豊口梨菜 女子シングルス3位

弓道

- 男子団体(19/40) 9位
松下大和 男子個人3位(8射7中)
川中島鈴音 女子個人9位(8射6中)

バドミントン

- 男子学校対抗 3位
男子ダブルス・シングルス:ベスト8
男子ダブルス:ベスト8
男子ダブルス:ベスト8
男子ダブルス:ベスト8



電気電子工学科で ロボット大会を開催しました

電気電子工学科の2年生や保護者が見学

2023年(令和5年) 5月25日 木曜日

南 信 州 新 聞

OIDE
長 姫 高

制御技術の成果披露

電気電子ロボット大会

飯田OIDE長姫高校の電気電子工学科3年生39人は24日、ロボット製作・制御の学習の集大成としてライントレースロボット大会を開いた。2年生や保護者が見守る中、調整を重ねたロボットを走行させ技術を競った。

ライントレースロボットは、自律移動型ロボット。PWM制御という技術でコースの白線を3つのセンサーで読み取り、反応に応じて左右のモーター(タイヤ)の動かし方を制御する方式でジグザグや交差など多種多様なコースを走行する。

同科は1年次にロボットへ搭載する充電式電池の電源装置を製作し、写真感光技術を使って電子回路基板も自作。2年次にロボットの車体製作とマイコンへのプログラミングを行い、センサーで取得した情報をデータ処理してモーターを制御する方法を学んだ。

学習成果の発表の場となる大会の企画運営も生徒自身が手掛けた。2年の時に



電気電子工学科のロボット大会

大会を見学して課題や改善点を検討し、レイアウトやルールなどを変更した。予選では各生徒が2回ずつコースを走行し、合計タイムの上位8人が決勝に進

出。決勝はトーナメント方式で順位を競った。大会実行委員長の前沢拓さん(18)は「自分たちの考えたオリジナルの大会が実現できた。ソフトウエアとハードウエアの両方のバランスが重要な競技。皆が遅くまで熱心に調整した成果を披露してくれた」と話した。

掲載記事提供: (株)南信州新聞社



建築学科3年生 専門家の協力で現場の技術を学ぶ

建築の作業と魅力味わう

OIDE長姫 建築学科 専門家の協力で内装工事体験

飯田OIDE長姫
高校の建築学科3年
生36人は5月31日、
県建設室内工事業協

内装工事を将来
の選択肢に入れ
てもらおうと狙
った。

こと建築業、
踏まえ、実際に
作業を体験する
ことで建築業、
少で建築に携わ
る人材の不足を
踏まえ、実際に
作業を体験する
こと建築業、

会(因幡善治会長)
の協力で内装工事の
体験を校内で行っ
た。壁や天井の下地
になる鋼材や石こう
ボード張りなど
の作業を通じ、
机の上では分か
らない建築の作
業と魅力を味わ
った。



長室協の協力で内装工事を体験

参加した生徒は、
作業に携わる専門家
を講師に実際の工事
で使用する材料を使
用して内装工事を体
験。作業で使用した
耐切創手袋や防じん
マスクは協会が用意
した。
鋼製下地を設置す

るグループでは、水
平に引かれた線から
垂直の寸法を取り、
鋼材を切断して取り
付ける作業を体験。
生徒たちは、インパ
クトドライバーで鋼
材を固定したり、防
護ゴーグルをつけて
寸法通りに鋼材を切
断したり、天井をつ
る金具を取り付けた
りと指導に沿って丁
寧に作業に取り組ん
だ。

一方、ボードの取
り付けでは、現場で
測った寸法通りにボ
ードに線を引いて折
り取って加工。鋼製
下地にボードを取り
付けると、背面の鋼
材にきちんと食い込
むようにインパクト
ドライバーで固定し
ていった。
体験した建築学科
3年の仲平壮良さん
(17)は「実習でイ
ンパクトを使うのも
初めて。実際にやっ
てみないと分からな
いことばかり。貴重
な機会をいただいて
ありがたい」と話し
た。
同協会の因幡会長
は「内装は建築の中
での人間に最も身近
に感じられるもの。
体験を通して座学と
の違いを感じてもら
い、将来の選択肢を
広げてくれたら」と
語った。

掲載記事提供: (株)南信州新聞社



ラグビー部県大会を制して 7人制で全国大会へ

7月14日より上田市菅平高原で開催

2023年(令和5年) 6月3日 土曜日

南 信 州 新 聞

第3種郵便物認可

4

7人制
ラグビー

飯田OIDE長姫高校が大舞台へ

県制し初の全国大会



第10回全国高校7人制ラグビーフットボール大会に出場する飯田OIDE長姫高校ラグビー部

7人制ラグビーは 15人制と同じ広さのグラウンドを使い、ルールはほぼ同じ。日本ラグビー協会の主催する県大会は、高校世代の強化や競技の普及を目的としてOIDE年に新設された。

高校の試合は15人制が前半30分ずつ、7分ずつ短い。接触プレーが少なく、走力が重視される。高校のチーム登録には18人制は最低18人が必要だが、7人制は控えを含め10人、ナメントがある。

接戦制し全国への切符か 自分たちのプレーができ、14試合あった同校ラグビー部。学校生活の見直しや練習環境の整備、食生活の改善などに取り組み、強豪校とも争い合えるチームを目指してきた。現在の部員は限内最多の41人。昨年度の全国高校ラグビー大会県予選では48年ぶり19で下した。

3年の三島龍之介選手(17)はチーム決勝に進出し、悔しくも準優勝に終わったが、苦戦を乗り越え、初戦から関谷工業と激突。残り30秒で逆転し、19で勝利する。続く飯田大南との準決勝では24-22で接戦を制した。

決勝では伊那北と対戦。試合開始から

飯田OIDE長姫高校ラグビー部は、4月に開催された「第10回全国高校7人制ラグビーフットボール大会長野県予選」で優勝を果たし、初の全国大会への出場権を獲得した。全国大会は7月14日から上田市の菅平高原サニアパークで行われる。

全国大会は各都道府県代表と前回優勝チームの計18校が出場する。予選は3チームずつの16ブロックに分かれて総当たり戦を実施。その後は順位によってトーナメント戦を行い、優勝チームを決める。

決勝トーナメントは予選の成績に応じて、各組1位が最上位を争う「カッパトーナメント」、2位同士が争う「フットトーナメント」、3位同士が争う「ボウルトーナメント」がある。

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校



本校生徒 地元中学校で 「探求」について講演

2023年(令和5年) 6月3日 土曜日 南信州新聞



高校生が講師を務めて探求について教えた

「探究」ってなにをするの？

高陵中 全校生徒が高校生から学ぶ

飯田市の高陵中学 人は1日、高校生か 話を聞いた。飯田O校の全校生徒509 ーら探究活動に関する IDE長姫高校と飯

田女子高校の生徒が来校し、それぞれ講演。先輩の事例や経験について真剣に耳を傾けた。

昨年度から新たに取り組む全校総合学習の一環。課題解決能力と、地域を身近に捉えて行動する力の習得を目指す。高年齢者や保育園児との交流、地元の魅力を発信する活動、ごみ拾いなど一人1テーマを決め、月4時間ほどずつ進める。生徒たちは高校生のほか、地元住民や行政からも話を聞いてテーマを決めるヒントにする。

講演で飯田女子高校からは、進学コースEクラス3年の3人が発表。探究活動について「やりたいことをやることが大切」とし、▽好きや興味からテーマを決める▽協力して発展させるなどの手順を説明した。これま

掲載記事提供: (株)南信州新聞社



キャリア学習の日(6月6日)

3年生 地元企業説明会に参加

2023年(令和5年) 6月7日 水曜日

南 信 州 新 聞

高3対象の企業説明会

飯田職業安定協会とハローワーク飯田は6日、高校3年生を対象とした企業説明会を飯田市座光寺のエス・バードで開いた。飯田下伊那地域の高校生約230人が参加し、86事業所から仕事内容や募集職種について説明を受けた。

就職を希望する高校生に管内の企業を知ってもらおうと、3年目。以前はバスで企業を訪れる「企業見学会」を開いていたが、感染対策のため説明会に変更した。

今年は製造業や建設業、飲食、農業、旅館などから過去最多の事業所が参加。70の募集に対して90を超える応募があり、急ぎよ会場を増やして実施した。

生徒たちは事前に選んだ事業所のブースで25分間の説明を受けた。多くの事業所で話を聞けるようにとフリータイムも設け、1人最大5社のブースを巡った。

事業所側は生徒に仕事内容や職場環境を分かりやすく伝えようと、モニターやパンフレットを用いて説明。持参した製品や工具を見せながらアピールする姿もあった。

建築関係の仕事に就くのが夢だという飯田OIDE長姫高校建築科の江口佳輝さん(17)は、複数の建設会社で話を聞き「具

体的な仕事内容を分かりやすく教えてもらえた。働くイメージができた」と話した。

職業安定協会によると、見学会から説明会に変更したことで参加する事業所の職種も数も大幅に増えたといい、今後も説明会を続けていく方針という。

生徒230人、86事業所集まる



エス・バードで開いた企業説明会

掲載記事提供: [\(株\)南信州新聞社](#)

1・2年生は、学科ごと、県内外の事業所や上級学校等での学習活動を実施しました。

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校



同窓会 全国大会出場の ラグビー部とソフトテニス部を激励

2023年(令和5年) 6月14日 水曜日

南 信 州 新 聞

全国大会活躍へ激励会



ラグビー部を同窓会長が激励

OIDE 長姫高

ラグビーとソフトテニス

全国大会へ出場する飯田OIDE長姫高校のラグビー部とソフトテニス部の激励会が12日、同校同窓会(須山和彦会長)により行われた。ラグビー部は7人制ラグビーで全国大会へ出場するほか、15人制でも県大会を制し北信越へ出場する。ソフトテニスはシングルスで小林健太さん(17)が全国大会へ出場する。

同窓会による激励会は、母校の生徒の活躍を祝い、同窓会員や地域で応援しようと昨年度から始まった。ラグビー部は、年々着々と実力をつけて県内を代表する強豪校へ成長。今年4月の全国高校7人制ラグビーフットボール大会県予選で優勝を果たし、7月14日から上田市の菅平高原サニアパークで開く全国大会へ出場する。15人制では6月3日の春季高校総体県大会決勝で、岡谷工業に勝利し優勝した。17日から福井県で開かれる北信越大会へ出場する。



ソフトテニスの小林さん

主将は3年生11人全員が日替わりで担当しており、同日の主将を務めた原有澄さん(17)は「県大会優勝は49年ぶり。北信越はチャレンジしたい。7人制は強い気持ちで取り組んでいく。目標は花園出場。強い相手と対戦して力をつけ、花園予選で結果を出したい」と意気込んでいる。

ソフトテニスの小林さんは、14日から北海道で開く全国大会へ出場する。愛知県出身で中学校時代に愛知県代表となったものの、新型コロナウイルスで全国大会出場はかなわなかった。高校1年で長野県に来たが、練習環境の変化に苦労した。飛び抜けた実力で周囲の期待を受けつつも以前はプレッシャーで力を発揮できなかったという。今年には南信予選優勝で自信をつけ、県大会で優勝した。「目標はベスト8。自分の練習の成果を発揮し、少しでも長くコートの上に立ちたい」と語った。

須山同窓会長は「先生や家族、仲間への感謝を忘れず、全国大会をしっかりと楽しんでほしい。皆の活躍を同窓会や地域の皆が応援している」と激励した。

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校



技能検定 シーケンス制御作業

13人合格

2023年(令和5年) 6月15日 木曜日

南信州新聞

技能検定に13人が合格 シーケンス制御作業2・3級

OIDE長姫高

ものづくり技能検定(国家技能検定)の電気機器組み立てシ

ーケンス制御作業2級と3級を受験した飯田OIDE長姫高校の生徒13人が合格し、13日、同校の松原均校長に報告した。

検定に並行して行われた技能競技大会の3級では、3年の小池優太さん(17)と小林陽翔さん(同)の2人が同点で1位の県知事賞を受賞した。シーケンス制御は、機器を定められた順序に従って制御する技術。実技試験では、指示された仕様通りに配線し、回路を完成させた後、プログラムを入力して仕様通りに動作させる。競技大会を兼ねており、検定試験結果の上位3人を表彰している。



シーケンス制御2級3級の合格生徒

合格した。3級の競技大会では卒業生1人が2位の職業能力開発協会賞を受賞した。県知事賞のうち、小林さんは「練習したことをそのまま発揮できた。まさか1位をとれるなんて」。同じく小池さんは「1年の時は不合格だったが、リベンジできた。次は上位の検定を目指したい」と喜んだ。生徒の報告を受けた松原校長は「努力して達成したことを誇らしく思う。上位の検定別の資格など次のステップにチャレンジしてほしい」と祝った。

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

県知事賞 2名受賞

電気電子工学科 小池優太さん 小林陽翔さん

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校



鶴田悠真さん(2G)米国派遣に向けて活動

夏休みに米国で取材体験へ
OIDE 長姫高の鶴田さん

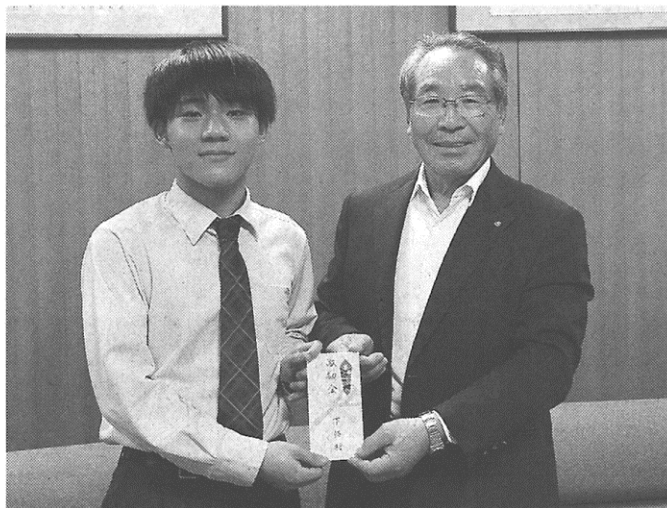
学生記者

県内の中高生が夏休み中に米国で取材する「学生記者海外

派遣」に参加する、飯田OIDE長姫高校商業科2年の鶴田悠真さん(16)は、下條村北又さんが26日、村役場に金田憲治村長を表敬訪問した。7月30日に日本を出発し、7日間にわたってワシントンやニューヨークなどを訪問する予定で、「スムーズに会話できるよう出発まで英語の勉強を頑張りたい」などと意気込みを語った。

事業は一般社団法人長野県新聞販売従業員共済生会が主催。それぞれテーマを設定して現地で取材し、記事にまとめ、同世代との交流などにも計画している。中学校でバスケットボールをしていた鶴田さんは、米プロリーグを見るようになったのをきっかけに米国の文化に興味を持ち、学生記者の募集に応募。応募総数493人の中から派遣される20人に選ばれた。

取材テーマは、ロシアのウクライナ軍事侵攻など近年の世界情勢から関心を持った「戦争」。銃社会で世界一の軍事力を誇る国の国民がどのように戦争を捉えているか知りたいと、米国では太平



学生記者として米国に派遣されるOIDE 長姫高の鶴田さん

洋戦争の原爆投下を必要だったと答える人が多いと聞く。大きな枠で戦争についての考えをインタビューし、日米の違いを知ることができれば」と語った。

表敬を受けた金田村長は「20人に選ばれたのはすごいこと」と激励。「帰国後にはそのチャレンジ精神を他のことにも生かしてほしい」と期待を寄せた。

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

24日には、長野市で開催された事前学習会で、取材記事の書き方など派遣に向けた学習に取り組むなど、準備を進めています。

思い出かせこの一瞬

飯田OIDE長姫高校



メンバー表

Table listing team members including positions (部長, 監督, 投手, etc.), names, and statistics.

*マネージャー 内山 優月② 齋木 大島 花心② 齋木 清水 小町① 旭ヶ丘 熊谷 新奈① 旭ヶ丘

○は主将 名前/学年/出身校/投打/身長/体重

井口雄弥 監督

勝負は常に2分の1。どんな時も挑戦する勇気を持って、はつらつとプレーしよう



熊谷琉央 主将

集大成の夏。チームで日々積み重ねてきたことを発揮して、あの空に虹を架けよう

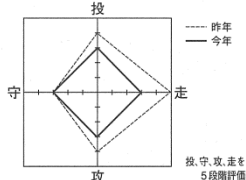
過去の戦績

- OIDE長姫 0-3 東海 OIDE長姫 7-2 高遠 OIDE長姫 3-9 松本国際 OIDE長姫 12-3 伊那北 OIDE長姫 11-9 飯田

- ◆部員-40人 ◆昨夏-4回戦 ◆夏最高一ベスト16 ◆今春一地区3回戦

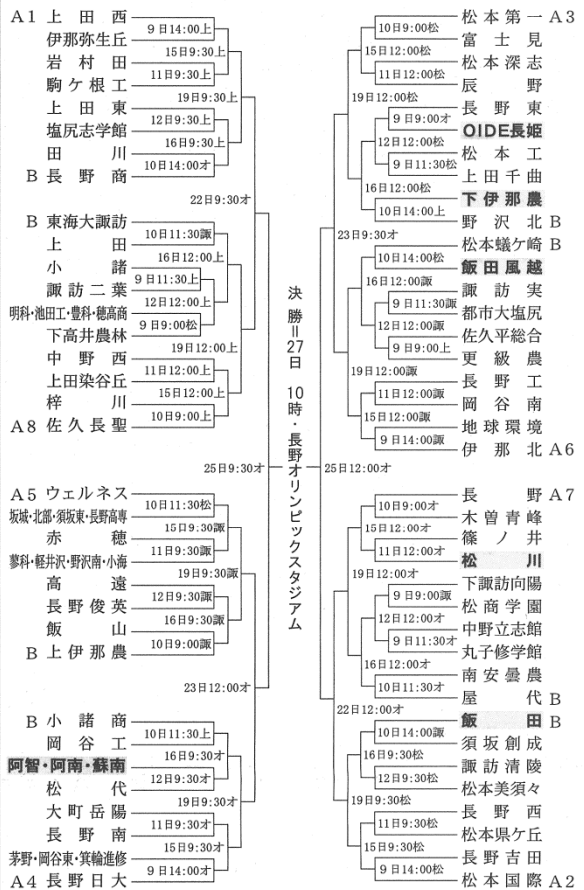
解説

それぞれが自分の責任を果たし、チーム全体の力で試合に挑む。どんな時でも目の前の1球に挑戦する姿勢で臨む



第105回全国高校野球選手権長野大会が8日、飯伊勢6校を含む72チームが参加し、セキスイハイム松本スタジアムで開幕する。松本スタジアムのほか長野オリンピックスタジアム、上田県営球場、しんきん諏訪湖スタジアムが会場となり、準々決勝以降は長野オリンピックスタジアムで実施。順調に日程が進めば27日に甲子園に出場する県代表が決まる。開会式の選手宣誓は、田川の上條大地主将が務める。

第105回 全国高校野球選手権長野大会組み合わせ



オ=長野オリンピックスタジアム 松=セキスイハイム松本スタジアム 上=上田県営球場 諏=しんきん諏訪湖スタジアム 【注】上側チームが一塁側、決勝戦は左側チームが一塁側 AはAシード、数字はシード校順位。BはBシード

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

開幕 初日第1試合で 長野東高と対戦 11対3 7回コールド勝ち 2回戦 8対10 で、松本工業高に敗退

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校



夏の高校野球長野県大会

1回戦快勝 7回コールド

2023年(令和5年) 7月12日 水曜日

南信州新聞

4

高校野球
長野県大会

飯伊球児の夏 一気に全開

▶1回戦(長野オリンピックスタジアム)
長野 東 1020000 | 3
OIDE 長姫 114401X | 11
(七回コールド)

(長東) 角田、川戸、鈴木、角田、宮本一千原

(O長) 北原、松下一下平

▷②下平、赤羽 (O)

▷③宮澤 (長) 赤羽 (O)

【戦評】1点を追うOIDE長姫は三回、1死二、三塁から暴投で追い付くと、7番下平の犠牲フライで勝ち越し。その後も打線がつながり、8つの盗塁を決めるなど機動力を生かした攻撃で2桁得点を挙げ、コールド勝ちで2回戦に駒を進めた。

①

長野オリンピックスタジアム

長野 東	打点	OIDE 長姫	打点
④ 小川	10	⑤ 川	3
⑤ 角田	10	⑥ 北	4
⑥ 川戸	2	⑦ 松	1
⑦ 鈴木	3	⑧ 下	1
⑧ 角田	3	⑨ 赤	1
⑨ 宮本	1	⑩ 宮	0
⑩ 一	0	⑪ 澤	0
⑪ 千	0	⑫ 赤	0
⑫ 原	0	⑬ 羽	0
⑬ 野	0	⑭ 野	0
⑭ 村	0	⑮ 澤	0
⑮ 本	0	⑯ 長	0
⑯ 木	0	⑰ 姫	0
⑰ 村	0	⑱ 野	0
⑱ 野	0	⑲ 東	0
⑲ 東	0	⑳ 野	0
⑳ 東	0	㉑ 東	0
㉑ 東	0	㉒ 東	0
㉒ 東	0	㉓ 東	0
㉓ 東	0	㉔ 東	0
㉔ 東	0	㉕ 東	0
㉕ 東	0	㉖ 東	0
㉖ 東	0	㉗ 東	0
㉗ 東	0	㉘ 東	0
㉘ 東	0	㉙ 東	0
㉙ 東	0	㉚ 東	0
㉚ 東	0	㉛ 東	0
㉛ 東	0	㉜ 東	0
㉜ 東	0	㉝ 東	0
㉝ 東	0	㉞ 東	0
㉞ 東	0	㉟ 東	0
㉟ 東	0	㊱ 東	0
㊱ 東	0	㊲ 東	0
㊲ 東	0	㊳ 東	0
㊳ 東	0	㊴ 東	0
㊴ 東	0	㊵ 東	0
㊵ 東	0	㊶ 東	0
㊶ 東	0	㊷ 東	0
㊷ 東	0	㊸ 東	0
㊸ 東	0	㊹ 東	0
㊹ 東	0	㊺ 東	0
㊺ 東	0	㊻ 東	0
㊻ 東	0	㊼ 東	0
㊼ 東	0	㊽ 東	0
㊽ 東	0	㊾ 東	0
㊾ 東	0	㊿ 東	0
㊿ 東	0		

①



得点を挙げ、喜ぶO長の選手たち(対長野東)

機動力絡め大量得点

O長 1回戦

OIDE長姫は打線がつながり11得点。序盤、守備の

ミスが相次いで得点を許す展開に嫌な雰囲気になったが、機動力で振り払った。相手投手の連続投

を三回、代打の盗塁を決めると、池田がこの日2つ目の盗塁を決めると、連打でさらに追加

ミスが相次いで得点を許す展開に嫌な雰囲気になったが、機動力で振り払った。相手投手の連続投

を三回、代打の盗塁を決めると、池田がこの日2つ目の盗塁を決めると、連打でさらに追加

第105回全国高校野球選手権長野県大会は大会2、3日目の9、10日、長野オリンピックスタジアムを4会場、1、2回戦の試合を行った。OIDE長姫は長野東に11-3、風越は松本城ケ崎に7-0、下伊那農は駒北に10-0といずれも7回コールド勝ちで初戦を突破した。

ぶった。1死から四球を選んだ4番井原がすかさず盗塁得点圏に走者を進めて入りを許した。

点。試合の主導権を完全に握った。井口監督は「守備でリズムを作り手堅く入りたかったが、今日は走塁が状況を打破した」と試合を振り返った。序盤の5失策はいずれも送球ミスで「練習試合でも過去経験がない私の方。初戦の難しさを改めて思い知った」と苦笑した。

O長、風越、下農コールド発進



球児たちの2023

O長・池田(右)出塁での盗塁。強い気持ちでスタートを切った。自分らしいプレーができた。

掲載記事提供: (株)南信州新聞社



2023年(令和5年) 7月14日 金曜日

南 信 州 新 聞



市長表敬したOIDE長姫の選手

7人制ラグビー

全国大会へ意気込み

OIDE長姫高が市長表敬

ラグビーの第10回 菅平高原サニアパー
全国高校7人制大会 くに初出場する飯
(14)17日・上田市 田OIDE長姫高校 佐藤健市長らを訪ね

て意気込みを語った。

全国大会は各都道

地域のラグビー振興へ期待

南信州
クラブ

○長高・矢澤選手の壮行会

飯田市を拠点に活動するNPO法人南信州クラブは12日、第10回全国高校7人制ラグビー大会に出場する飯田OIDE長姫高校ラグビー部と第4回タグフットボールワールドカップ・アイルランド大会に出場する矢澤選手の出場を歓迎する壮行会を鼎文化センターで開いた。

「自分の得意なことをしっかりと走り続け、多く勝つ」「最後までを精いっぱい取り組む」「全力を尽くす」

「自分のできること」を精いっぱい取り組む「自分の得意なことをしっかりと走り続け、多く勝つ」「最後までを精いっぱい取り組む」「全力を尽くす」

OIDE長姫ラグビー部の選手らは全員が決意を表明。「全国でいろんなものを吸収したい」「一勝で



OIDE長姫と矢澤選手の壮行会

「全国でいろんなものを吸収したい」「一勝で

木下要弥理事長は、ラグビーを通じて誇りと愛着を持つスポーツのまちの形成を目指す同クラブの理念を語り、全国大会、W杯出場での活躍が地元の子どもたちに希望を与え、将来もラグビーに関わり続ける姿を期待した。

府県代表と前回優勝チームの計48校が出場。15日に3チームずつの総当たりによる予選、16、17日に決勝トーナメントを実施する。

HプールのOIDE長姫は、7大会連続8回目出場の国学院栃木と2大会連続の気持ちで一つでも多くトライを奪

た。

6回目出場の大分東明と予選を戦う。この日、3年生13人と中村光希監督(32)が訪問。全国に向けてそれぞれ決意を述べ、FWの秋元航太郎部長は「日本でも多くトライを奪

た。

多く勝つ」と誓った。佐藤市長と熊谷邦千加教育長が応じ、佐藤市長は「県代表として臨む全国大会で多くを経験し、15人制の花園予選につながる活躍を」と激励した。

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

7月15日 全国高校7人制ラグビー大会 予選Hプール3位

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校

OIDE 長姫 Topics Web

2023年(令和5年) 7月13日 木曜日

南 信 州 新 聞

高校野球長野大会

12日の試合

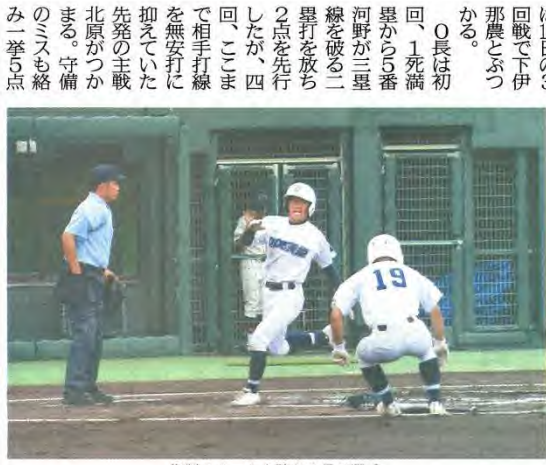
3点追う展開に

O長 2回戦

飯田OIDE長姫高校は、セキスイハイム松本スタジアムでの2回戦で松本工と対戦した。午後2時現在、五回が終わって4-7と、3点を追っている。勝てば16日の3回戦で下伊那農とぶつかる。

O長は初回、1死満塁から5番河野が三塁線を破る二塁打を打ち、2点を先行したが、四回、ここで相手打線を無安打に抑えていた先発の主戦北原がつかまる。守備のミスも絡み、一挙5点を失い、逆転を許し、3点差となった。

▽2回戦
OIDE長姫 2000214
O105117 (五回途中)
(O長) 北原、松下
(松本工) 櫻井、瀧



先制のホームを踏むO長の選手

2023年(令和5年) 7月14日 金曜日

南 信 州 新 聞

4点差追い付くも一歩及ばず

高校野球 長野大会 OIDE長姫2回戦で敗退

第105回全国高校野球選手権長野大会は大会5日目の12日、セキスイハイム松本スタジアムなど4会場での2回戦の残り8試合を行った。

OIDE長姫は飯田OIDE長姫と8-10で松本工に敗れ、3回戦進出を逃した。

O長 2回戦

序盤から点の取り合いになった試合。

一時は4点差を追い付いたO長だったが、最終に競り負け

四回は小技を多用する相手の攻撃にかき乱された。1死一、二塁からの日2つ目のスクイズを決められ同点にされる。この後守備の



松本工に敗れ、肩を落とすO長の選手たち (対松本工)



▶2回戦

(セキスイハイム松本スタジアム)
OIDE 長姫 200023010 | 8
松 本 工 01051012x | 10
(O長) 北原、松下、遠山、平沢、松山-下平
(松工) 櫻井、奥原-瀧井
▷②河野、小川(O) 徳武2(松)
▷③櫻井、島崎(松)

【戦評】OIDE長姫は3点を追う六回、相手の失策を見逃さず1死二、三塁の好機をつくると、9番佐々木の適時打などで同点。八回は2死二塁から2番池田の一打で再び追い付くなど粘りを見せた。しかしその裏、1死満塁から2つの押し出し四球を与えて勝ち越しを許し、最後は振り切られた。

セキスイハイム松本スタジアム	OIDE長姫	松本工
点	1100003000000	2111103010010
安打	2100210000000	5455310100010
打点	4331423441410	54452310140000
四球	1100000000000	1000000000000
犠打	0000000000000	0000000000000
犠飛	0000000000000	0000000000000
盗塁	0000000000000	0000000000000
盗塁成功	0000000000000	0000000000000
三振	4565503196	456110111011
投球回	4.5	5.1
勝利投手	松本工 櫻井	OIDE長姫 池田
敗戦投手	OIDE長姫 北原	松本工 奥原
救援投手	OIDE長姫 徳武	松本工 徳武
救援投手	OIDE長姫 島崎	松本工 徳武
救援投手	OIDE長姫 徳武	松本工 徳武
救援投手	OIDE長姫 徳武	松本工 徳武
救援投手	OIDE長姫 徳武	松本工 徳武
救援投手	OIDE長姫 徳武	松本工 徳武
救援投手	OIDE長姫 徳武	松本工 徳武
救援投手	OIDE長姫 徳武	松本工 徳武
救援投手	OIDE長姫 徳武	松本工 徳武
救援投手	OIDE長姫 徳武	松本工 徳武

ミスも絡んで失点。O長打線も負けずに取り返すも、勢いついて強い打球を飛ばすようになった相手打線を止めることができなかつた。

「5点くらいの勝負になると思つたが仲間を声を掛けて

九回に代打登場し、最後の打者になった熊谷主将は「後ろを落とした。」

「どこかで勝ち越せていければ試合を有利に進めることができたかもしれない」と

「この野球で勝ち進んでほしい」と先輩にエールを送った。



掲載記事提供: (株)南信州新聞社

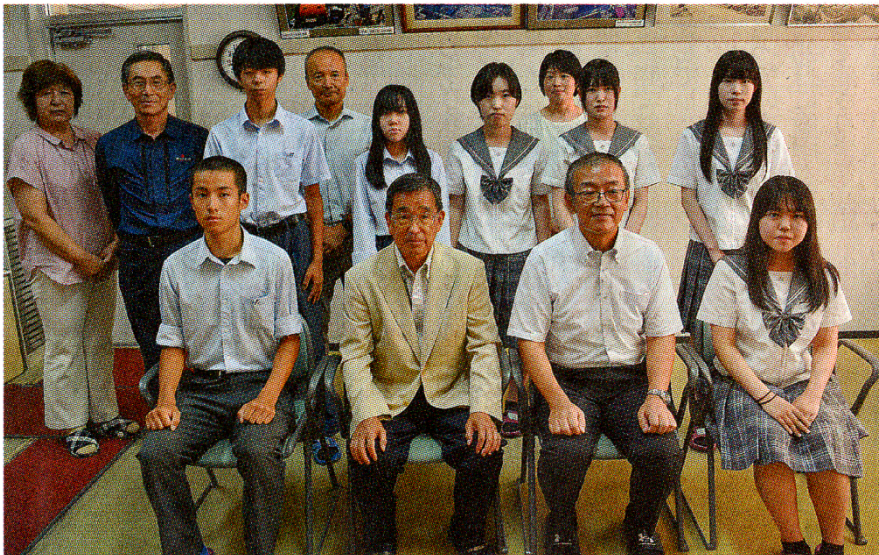
地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校

2年連続全国大会出場

2023年(令和5年) 7月29日 土曜日 南 信 州 新 聞

2年連続で全国大会へ

OIDE 長姫 自転車とワープロの両競技



全国大会へ出場する自転車とワープロ競技の選手

飯田OIDE長姫 高校同窓会は27日、

選手を激励会を開いた。自転車競技の個人で2人、ワープロ

の全国大会に出場する。た。自転車競技の個人で8月5日から北海道函館市で開かれ、全日本自転車競技連盟主催の全国大会に出場する。昨年に続く2回目の全国大会となる黒澤さんは、5月の県大会でロードレース優勝、3ポイントデュアルパシユートの最高順位(13位)より高い順位を目指したい」と語った。

競技の団体で商業研究部ワープロ班が8月の全国大会へ出場する。両競技とも全国大会は2年連続になる。

技のポイントは8月5日から北海道函館市で開かれ、全日本自転車競技連盟主催の全国大会に出場する。昨年に続く2回目の全国大会となる黒澤さんは、5月の県大会でロードレース優勝、3ポイントデュアルパシユートの最高順位(13位)より高い順位を目指したい」と語った。

自転車の技では、3年の黒澤響(17)がロードレースとトラックの3ポイントデュアルパシユート、2年の船澤亮太(17)がトラック競

年への経験になる。悔いなく走り抜きたい」と語った。ワープロ競技は、制限時間内に早く正確な文字入力を競う。今年6月の県大会で優勝し団体での全国出場を決め、7月の北信越大会でも3位に入賞した。8月3日に東京で開く全国高校ワープロ競技大会へ出場する3年生5人を代表し、ワープロ班班長の古田佳乃さん(17)は「歴代先輩の最高順位(13位)より高い順位を目指したい」と語った。

トラック競技の選手

松原均校長は「持てる力を十分発揮し、できれば楽しんでほしい」と呼び掛け、須山和彦同

トラック競技の選手

松原均校長は「持てる力を十分発揮し、できれば楽しんでほしい」と呼び掛け、須山和彦同

トラック競技の選手

松原均校長は「持てる力を十分発揮し、できれば楽しんでほしい」と呼び掛け、須山和彦同

トラック競技の選手

松原均校長は「持てる力を十分発揮し、できれば楽しんでほしい」と呼び掛け、須山和彦同

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

浜島精機様より学習機材の寄贈を受けました

浜島精機

〇長高へ3Dプリンター

信金SDGs私募債活用し

飯田市山本の精密機械加工業「浜島精機」(濱島保人社長)は22日、飯田信用金庫の「しんきん地方創生型SDGs私募債『南信州のミライ』」を活用し、飯田OIDE長姫高校に3Dプリンターなどを寄贈した。

「南信州のミライ」は企業が私募債を発行する際、発行額に対する手数料から0・2%を割り引き、発行企業はその割引分を活用して、SDGs 17のゴールにつながる物品などを希望の学校、団体に寄贈する寄付型の私募債。寄贈品は中型の3Dプリンター1台と、ストロボスコピー機、パールワゴン8台。

研究やインターンシップなど、地域の仕事を知ってもらおうというプンプンファクトリーを実施している。3Dプリンターは生徒から「授業で使用が重なり使えないことがある」との声があり、要望に応じて寄贈した。

同校で開いた寄贈式には濱島社長と濱島郁人工場長、松原均校長、飯田信金の小池貞志理事長らが出席。濱島社長は「3Dプリンターをしっかりと活用し、これからのために役立つ仕事がある。将来はぜひ地元に戻ってきてほしい」と呼びかけた。



飯田OIDE長姫高校で開いた寄贈式

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校

高校サッカー選手権

長野県大会開幕

2023年(令和5年) 8月25日 金曜日

南信州新聞

6

飯伊勢チーム紹介

第102回全国高校サッカー選手権県大会が26日、開幕する。飯伊勢5チームを含む72チームが参加。飯伊勢のうち松川は松代、飯田は丸子修学館、風越は長野吉田、OIDE長姫はウェルネスとそれぞれ初戦。下伊那農は蘇南との連合チームとなり、1回戦の相手は木曾青峰・エクセラン連合。順調に日程が進めば、決勝は11月11日に松本市のサンプロアルウィンで行う。

- | | |
|----|----------------|
| 監督 | 星山 蒼 |
| 1 | GK 鈴木文明・返和和貴 鼎 |
| 2 | MF 中沼 朝羽② |
| 3 | MF 梶本陽南② 高 陵 |
| 4 | MF 胡桃澤莉玖② 緑ヶ丘 |
| 5 | DF 木下 颯太② |
| 6 | DF 富内 真人① 旭ヶ丘 |
| 7 | DF 元島 来斗① 飯田東 |
| 8 | FW 碓井 士温① 旭ヶ丘 |
| 9 | FW 串原大治郎② 下 條 |
| 10 | MF 折山 陽琉① 旭ヶ丘 |
| 11 | MF 山田 空② 鼎 |
| 12 | DF 吉川 諒介① 高 陵 |
| 13 | DF 久保田 豪① 飯田西 |
| 14 | DF 平澤 礼恩② 緑ヶ丘 |
| 15 | MF 富内 歩人② 旭ヶ丘 |
| 16 | DF 原 鉄生③ 高 森 |
| 17 | MF 淵田 純也③ 飯田東 |
| 18 | FW 佐々木綾之助① 旭ヶ丘 |
| 19 | DF 片桐 龍① 旭ヶ丘 |
| 20 | MF 吉澤 瑞季① 旭ヶ丘 |
| 21 | GK 大蔵 駿② 旭ヶ丘 |
| 22 | MF 近藤 楓翔③ 旭ヶ丘 |
| 23 | MF 松下信之介① 高 森 |
| 24 | GK 原田 和弥① 旭ヶ丘 |
| 25 | DF 宮澤 志樹① 豊 丘 |
| 26 | DF 酒井 雄大① 旭ヶ丘 |
| 27 | FW 佐々木啓太① 天 龍 |
| 28 | FW 宮下 昇己① 天 龍 |
| 29 | FW 木下 康太① 鼎 |
| 30 | GK 筒井 遥空① 高 陵 |
| 31 | MF 諏訪 明義① 高 陵 |
| 32 | DF 多田 颯樹① 高 陵 |
| 33 | DF 大坪 龍輝① 高 陵 |
| 34 | GK 山下春太郎① 鼎 |
| 35 | FW 小木曾翔太① 竜 電 |

飯田OIDE長姫



星山監督

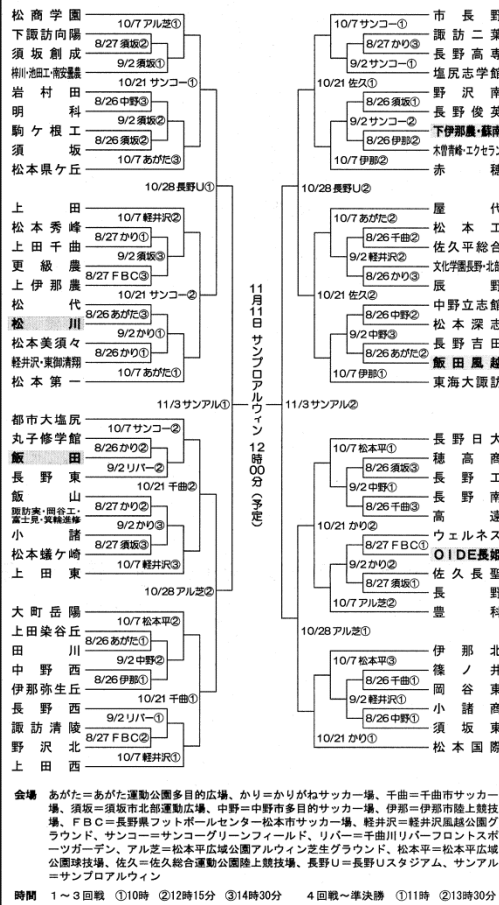
3年生の多くが引退し、1、2年生主体のチーム。サッカーの技術面だけでなく人間性にこだわってきた。最後までできらめずボールを追いかけるプレーを期待したい。



木下主将

チームとしてまとまりができ、主体的に動けるようになってきた。昨年は3回戦敗退だったが、今年はベスト16の壁を破れるよう熱い気持ちで試合に臨みたい。

第102回全国高校サッカー選手権県大会組み合わせ



高校サッカー選手権県大会

8月27日 初戦敗退 飯田 OIDE 長姫 1-4 日本ウェルネス長野

(1-2・0-2)

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校

社会基盤工学科の国道美化活動 道路愛護で国交省表彰

2023年(令和5年) 9月2日 土曜日

南信州新聞

OIDE 長姫高 国交省の道路愛護表彰

10年にわたって国道153号での美化活動を続ける飯田OIDE長姫高校が、国土交通省の「道路愛護飯田国道事務所長表彰」を受賞した。8月31日には校内で表彰式があり、代表生徒が飯田国道事務所の大口鉄雄所長から感謝状を受け取った。

し、年度末の課題研究発表会で成果などを発表している。本年度は6人で活動。メンバーを代表して感謝状を受け取った熊谷琉央さん(17)は「先輩が受け継いできた活動をこれからも続けて、そして後輩に残していけるよう頑張りたい」と語った。

国道の美化活動は2013年に始め、毎年、社会基盤工学科の3年生が課題研究として取り組んでいる。名古屋東交差点から別府交差点までの約2・3キロでゴミ拾いや草刈りを行う。年8回ほど作業

これまでの作業では大きいゴミはなかったものの細かいゴミが目立ったという。「清掃活動を通してゴミ捨てをする人を減らしていきたい」と力を込めた。大口所長は10年にわたる活動に感謝を

10年にわたり国道美化



飯田OIDE長姫高校が道路愛護表彰

伝え「ごみのない歩道は地域住民のみならず、観光客にもきれいな街という印象を与えてくれる。表彰を契機に活動を継続してほしい」と呼び掛けた。国交省は毎年8月を「道路ふれあい月間」と定め、道路愛護などに取り組む団体を表彰している。

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校

建築学科 インターンシップ

県飯田建設事務所 実現場で学習



県発注工事現場を見る建築学科の生徒

実際の現場で学ぼう

OIDE
長姫高校

建築学科 インターンシップ

飯田OIDE長
姫高校建築学科の
2年生35人は8月
31日と9月1日の
両日、地元企業や
行政機関などを訪
問して業務を体験
するインターシ
ップを行った。

このうち、県飯
田建設事務所建築
課では、両日各4
人の計8人を受け
入れ、飯田合同庁
舎内で実施するト
イレ改修工事、県
補助事業の住宅の
建設工事などの現
場見学を行った。

内容は聞き、建築
確認や耐震改修、
住宅補助事業、県
営住宅関連などの
事務処理の業務も
体験した。

午後からは現場
見学。このうち、
合庁トイレの改修
工事では、施工者
のうち、吉川建設
現場代理人の小林
隆さんから説明を
聞いた。

設計図の分厚い
冊子を見せられ、
驚いた生徒たち。
小林さんは「設計
図はただの参考
書。職人さんは全
部寸法が入った図
面でない」と語
り、細かい寸法を
加えた施工図に全
て書き直す作業を
解説した。

施工図は、設計
者や発注者と打ち
合わせを重ねて練
り上げる。扉など
の備品や貼り付け
るシール表示など
も、県工事では既
製品を使うのでは
なく、全てその場
に適用したものを提
案して承認を受
け、製作するとい
う。

実際の業務では
パソコンを使って
CADでの製図が
必須になること
や、資格取得には
手作業での製図が
必要など、学習に
ついてもアドバイ
ス。実際に庁舎内
の現場を見なが
ら、工事の様子を
確認した。

掲載記事提供：(株)南信州新聞社

中央図書館でのインターンシップ で本校生も読書会を体験

南 信 州 新 聞

2023年(令和5年) 9月3日 日曜日

いつか読みたいを共有 駅前図書館で「積ん読書会」

いつか読みたいと思っていたり、読みかけて途中で挫折したりした本「積ん読」を持ち寄って意見交換する「積ん読書会」が1日、飯田市東和町の飯田駅前図書館であった。高校生から一般までの男女7人が参加。「積ん読」にまつわるエピソードや、本に対する思いを共有した。昨年5月にオープンした同館は、市立中央図書館のサテライト図書館。高校生を中心に多くの人に利用してもらおう



駅前図書館であった読書会

と、本年度から2か月に1度のペースで多彩な企画を繰り広げている。市立中央図書館の職員が、「積ん読」について広辞苑などから用語を説明。江戸時代の資料に登場していたことに触れ、長く日本人の身近にある言葉であること

を伝えた。参加者は持参した「積ん読」を順に紹介。「漢字が難しい」「内容が重くてなかなか読み進められない」など、本に関するエピソードを話した。参加者の1人が、持参したガルシ

初めて読書会に参加した信州豊南短期大学2年の寺田梨花さん(19)は「本の好みや知識がそれぞれ違って、話を話して面白かった」と話していた。

1日に駅前図書館で開催された「積ん読書会」には、中央図書館でインターンシップを行っていた本校の2年生も参加していました。

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校

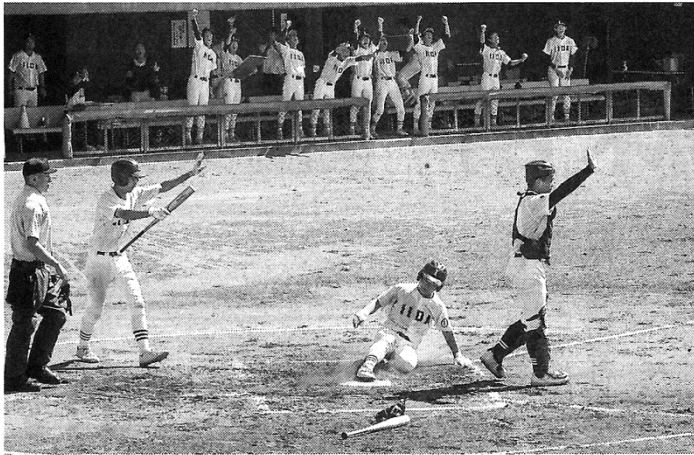


高校野球秋季大会

南信地区予選 準々決勝へ

○長、飯田8強入り

高校野球の南信地区予選



伊那北を圧倒する飯田

第149回北信越高校野球県大会南信地区予選は2、3日、1回戦4試合と2回戦4試合を綿半飯田野球場などで行った。飯伊勢は南信連合(阿智、阿南、富士見、茅野、岡谷東、箕輪進修)が9-7で諏訪実を退け、風越は9-0下伊那農にコールド勝ち。2回戦のOIDE長姫と飯田はそれぞれ準々決勝進出を決めた。

9日の2回戦で南信連合は東海大諏訪、風越は松川とそれぞれ対戦する。10日の準々決勝でOIDE

E長姫は赤穂―高遠、飯田は南信連合―東海大諏訪の勝者と当たる。

▽1回戦

南信連合

1210022100
00313000079

諏訪実

(連合) 征矢、小原、竹村

―羽生、征矢

(諏実) 黒岩―原田

▽③羽生(連) 黒岩、遠藤

(諏)

▽②青木、五味(連) 原田

(諏)

風越

020002329
000000000

下伊那農

(七回コールド)

(風越) 後藤、宮沢―池内

(下農) 佐々木、原、近藤

―伊藤

▽③北村(風)

▽②池内(風) 熊谷嘉(下

農)

▽2回戦

OIDE長姫

0200094
0000020215

岡谷工

(六回コールド)

(O長) 畔上、平沢―古山

(岡工) 石川、高田、小口

稔、石川―高田、坂本、高

田

▽本||木下(O)

▽③木下(O)

▽②上原、南島(O)

伊那北

000000
102007x100

飯田

(五回コールド)

(伊北) 宮沢、園田―橋爪

(飯田) 松村―赤羽

▽②今村拓2(飯)

高校野球





統合創立十周年記念 校歌碑除幕式

統合10周年記念で校歌碑



校歌碑の除幕式

OIDE 長姫高 同窓会寄贈「シンボルに」

今年で統合から10周年を迎える飯田OIDE長姫高校で、同窓会が学校に校歌碑を寄贈した。13日には除幕式があり、完成した校歌碑が披露された。

同校は2013年、飯田長姫高校と飯田工業高校の統合により開校。校歌は飯田市出身の作曲家羽場仁志さん(60)が作詞作曲を手掛けた。校歌碑は昇降口近くに設置。高さ約1・5メートル、幅約2メートル、奥行き約0・8メートル、地元産の花こう岩を使用した。除幕式には学校関係者や同窓会、施工会社、羽場さんらが出席。多くの生徒も見守る中で幕が取り除かれた。

あいさつで須山和彦同窓会長(75)は「同窓会で校歌碑がないのは寂しいとの声があり、設置した。校歌だけでなく校歌碑も大切にして学校のシンボルにしてほしい」と語った。松原均校長は「校歌は生徒だけでなく卒業生や地域住民にとっても心の支え。立派な碑を寄贈していただきありがたい」、生徒会長の福澤麗さん(17)は「私は『空に虹が架かる』という歌

詞が好き。この歌詞のように学校の未来に虹が架かってほしい」とそれぞれ感謝を伝えた。羽場さんは楽曲に込めた思いなどを語り「10年、20年といわず100年先もこの地に残る校歌となってほしい」と願った。同窓会は校歌碑のほか、ワゴン車と吹奏楽部用の校歌の楽譜を寄贈。除幕式では吹奏楽部が初めての校歌演奏を披露した。10月7日には実行委員会主催の統合創立10周年記念式典が飯田文化会館で開かれる。

統合創立10周年記念式典 令和5年10月7日 午後1時30分より 飯田市文化会館
午後2時30分より 生徒発表

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校

高校野球秋季大会 県大会へ

2023年(令和5年) 9月19日 火曜日 南信州新聞

風越、飯田、〇長県へ

高校野球の南信地区予選

第149回秋季北信越高校野球県大会南信地区予選は16日に準決勝、17日に決勝と順位決定戦を行った。3位決定戦は風越が11-7で飯田を下し、復活代表決定戦はOIDE長姫が6-0で駒ヶ根工を退けた。

決勝は赤穂が7-2で諏訪清陵を破り、1958年秋以来64年ぶりの優勝を飾った。

上位6チームが県大会(23日開幕・上田県営、長野五輪、長野県営)に出場する。

▽準決勝
諏訪清陵 00103131110
飯田 01110010115

▽決勝
赤穂 11101110027
諏訪清陵 00000100012

▽本場福島(赤)
▽②酒井、会田2
(赤)松田、佐々木

▽池内
▽本場福島(赤)
▽②酒井、会田2
(赤)松田、佐々木
(風)岩下(飯)
▽復活代表決定戦
駒ヶ根工
OIDE長姫
(駒工)小林、伊藤
坂井



対 松商学園

県大会1回戦 9月23日(土) 長野オリンピックスタジアム

飯田OIDE長姫 1対8 松商学園 8回コールドで敗退

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校

茂木GPに向けて地域の力を結集

茂木グランプリで活躍を

OIDE長姫高 阿智精機が部品寄贈



阿智精機が原動機部に部品を提供

飯田OIDE長姫高校原動機部の協賛企業のア智精機(熊谷雄一社長)は19日、3村駒場には19日、3輪電気自動車4台分の前輪ハブ計8基を同部に寄贈した。10月15日にモビリティリゾートもてぎ(栃木県)で開く「2023 Ene-1 茂木グランプリ」の大会で使用する。

同部は、充電式単三乾電池40本を動力にする同大会や鈴鹿グランプリなどに出場し、常に高い成績を残すなど活躍している。

車体の部品の多くは校内の機材を利用して部員自身が製作するが、高い精度が求められる重要な部品は地域の協賛企業が製作・提供している。

ア智精機は現在使用している車軸も提供した。ハブは車軸を支える重要な部品。中心軸のわずかなずれで車輪の回転にゆがみが生じる。内部に部品を組み込むため高い精度が必要で、校内の汎用機での製作は難しかった。

7月の文化祭で学校を訪れた熊谷社長に、同部の原簿弥部長がハブにゆがみが生じてきたと伝え、ア智精機が製作を快諾した。

軽量で強度があるアルミ合金を使用し、同社の複合旋盤で加工。同軸・同芯の精度を高め、8基とも同品質で個体差が出ないようにした。表面処理を施し、各車体に合わせ、各車体に合わせたカラーリングも行った。

鈴鹿グランプリで現地を観戦したという熊谷社長は「非常にレベルの高いレース。皆さんの車の一部、青春の一部として使われることは光栄だ。これからも頑張ってもらいたい」と語った。

原部長は「素晴らしい部品を提供いただきありがたい。これを使って茂木で日本一を取りたい。これからも応援よろしくお願いします」と感謝した。

ア智精機は、食品機械・医療機器の部品加工・組み立て・電装・設計などを手掛ける。11月に飯田市龍江の旧シチズン工場に拠点を移転し、社名を「ZES TIA(ゼスティア)」に変更する。

2023 Ene-1 MOTEGI GP 期日 2023年10月15日(日) 開催
 会場 モビリティリゾートもてぎ 西コース (栃木県芳賀郡茂木町)

本校エントリー	KV-40 Div1(車両重量制限なし)部門	2台
	KV-40 Div - Next(車両重量制限あり)部門	1台
	KV - Moto(二輪車)部門	1台

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校

KV-40



単3充電電池 40 本で動く

手作りの『電気自動車』

3 輪以上の車体に動力源となる単 3 充電電池 40 本と、モータを載せた車体をドライバーが運転する。小さな車体には、空力や転がり抵抗が考えられた車体・部品や、ロガー・通信機などバッテリーマネジメント用の電子機器が搭載されている。車体や機器・部品は市販されていないため手作りとなる。

KV-Moto



単3充電電池 40 本で動く

自転車を改造した『電動自転車』

2 輪の車体は、市販自転車のフレームを使用し、20 インチ以上のリムホイールを組み合わせて製作する。動力のモータとタイヤはチェーンやギアで接続するチームや、モータを直接タイヤに接続するチームがある。空力のことを考え、ライダーたちは前傾姿勢で運転を行う。

■ 開催カテゴリー・クラス

KV-40、KV-Moto とともに、共通のカテゴリー分けて、総合順位、クラス順位が決定する。

	開催クラス	車両規則	乗員重量
Div1	a: 一般 b: 大学・高専・専門 c: 高校 d: 中学	・車両重量規則なし	53kg 以上
Div-Next	b: 大学・高専・専門 c: 高校 d: 中学	・最低車両重量規則あり KV-40 : 35kg 以上 KV-Moto : 15kg 以上	b: 55kg 以上 c: 53kg 以上 d: 47kg 以上

※車両・乗員重量に満たない場合、競技に応じたバランスウエイトの搭載を行う

■ 競技内容

KV-40、KV-Moto とともに、「タイムアタック（予選）」と「決勝レース」の 2 つで構成される。大会結果は、「タイムアタック（予選）」の順位によるポイントと「決勝レース」の順位によるポイントで決定する。

「タイムアタック（予選）」

西コース 1 周のタイムアタックを行い、「決勝レース」への出場権と、タイム順によるスタートグリッド順を決定する。指定時間までに完走できなかった場合は「決勝レース」のポイント対象外となる。

「決勝レース」

決勝レースでは、各競技・カテゴリーに応じた時間の耐久レースを行う。

KV-40 Div-1	: 60 分
KV40 DivNext	: 45 分
KV-Moto 各 Div	: 30 分

■ 飯田 OIDE 長姫高校 原動機部 大会結果（昨年度）

KV-40 Div1		KV-40 DivNext	KV-Moto DivNext
WISDOM a	WISDOM	WISDOM II	WISDOM - BIKE
高校生部門：2 位 総合：5 位	高校生部門：6 位 総合：12 位	高校生部門：1 位 総合：1 位	高校生部門：1 位 総合：1 位

水泳部 稲垣良祐さん

高森町の報告・激励会に出席

2023年(令和5年) 9月29日 金曜日 南信州新聞



右から安藤さん、高野さん、稲垣さん、瀬口さん

高森町

高校生の活躍 町が元気に

全国大会出場などの4人を激励

高森町は27日、全町出身の高校生4人、玄町長は「明るい話国や東海、北信越なを迎え、報告・激励題を提供していただいたの舞台で活躍する会を開いた。壬生照きうれしい。町の中に大きな舞

台で活躍する若者がいることは、町を元気にしてくれらうと喜び、努力をねぎらうとともに、さらなる活躍へエールを送った。

町役場を訪れたのは、木曾清峰高校3年の瀬口皓士さん(17)、飯田OIDE長姫高校3年の稲垣良祐さん(同)、飯田風越高校3年の高野葵さん(同)、同2年の安藤瑞貴さん(16)の4人。

瀬口さんは県高校総体水泳競技大会で50メートル自由形、100メートル自由形の2種目で優勝。8月の全国大会に出場した。稲垣さんも県高校総体水泳競技で100メートル背泳ぎ、200メートル背泳ぎ、4×100メートルドレーリレーで優勝。10月14日から千葉県で開催される「第44回JSCAフロック対抗水泳競技大会」に、長野・新潟県の代表選手として出場する。

高野さんと安藤さんはともに吹奏楽部に所属する。同部は8月6日に行われた県吹奏楽コンクール県大会高校部門に出場し、B部門(30人以下で自由曲のみ演奏)で金賞を受賞。同日27日に静岡県で開かれた東海吹奏楽コンクールでは銀賞を受賞した。高野さんはユーフォニアム、安藤さんはトロンボーンを演奏した。

また、高野さんは「2年連続で東海大会に出られた経験を大学に行っても生かしたい」、安藤さんは「自分にとって最後の年となる来年も悔いのない結果を残したい」と話した。

掲載記事提供: (株)南信州新聞社



飯田OIDE長姫高等学校は統合創立10周年を迎えました。

幅広い教養と高い専門性を追求し、社会に開かれた学びをととして、
平和な未来に貢献できる心豊かな人間を育成する

教 育 目 標

■ 全日制

ひとつづくり(豊かな情操を育む人間形成)
生命の尊厳を自覚し、真理と正義を愛する知識・教養・創造性豊かな人間の育成に努力する
ものづくり(付加価値の創造)
独創(Originality)・想像(Imagination)・工夫(Device)・努力(Effort)の精神を尊重し、
工業・商業両分野におけるものづくりの拠点校としての役割を果たす
学校づくり(充実した学びの場の構築)
安心・安全な学校(いじめ・体罰のない)をめざすとともに、
環境教育や総合技術高校としての専門教育の推進等による特色ある教育システムを構築する。

■ 定時制

不登校・外国由来の生徒などを受け入れる中で、安心して学習できる場を確保しながら、
生徒が社会的に自立していける力を育む。

【教育重点目標】

- 1 ライフスタイルや学習状況に合わせた学習支援と基礎学力の定着
- 2 特別支援の充実と、いじめ・体罰のない安心・安全な学校づくり
- 3 生徒を社会へつなげるためのしくみづくり



長野県飯田OIDE長姫高等学校

飯田OIDE長姫高等学校同窓会

橋北支部	羽場支部	松尾支部	川路支部	鼎支部	大鹿支部	浪合支部	下條支部	天龍支部	駒ヶ根支部	関西支部
橋南支部	座光寺支部	竜丘支部	龍江支部	上郷支部	豊丘支部	清内路支部	泰阜支部	遠山郷支部	北信支部	
東野支部	伊賀良支部	下久堅支部	千代支部	松川支部	喬木支部	平谷支部	阿南支部	中川支部	中部支部	
丸山支部	山本支部	三種支部	上久堅支部	高森支部	阿智支部	根羽支部	売木支部	飯島支部	関東支部	

飯田OIDE長姫高校10周年

「この10年の想いがこれからの歴史をつくる」

飯田OIDE長姫高等学校創立10周年記念
副校長 須山 和彦



長野県飯田OIDE長姫高等学校が創立10周年を迎えました。この10年を振り返り、協力支援いただいた方々に感謝申し上げます。飯田OIDE長姫高等学校は、創立10周年を迎え、新たな歴史を刻み出す重要な節目を迎えています。本校は、創立10周年を機に、さらなる発展と進歩を期し、生徒一人ひとりの成長と夢の実現に力を注ぎます。

「地域産業を担う人材育成をめざして」

飯田OIDE長姫高等学校
校長 松原 均



本校は平成29年4月に長野県飯田工業高等学校と野原田工業高等学校が統合し、飯田OIDE長姫高等学校として誕生しました。この10年を振り返り、地域産業を担う人材育成に力を注ぎ、生徒一人ひとりの成長と夢の実現に力を注ぎます。

「創立10周年を迎えて」

生徒会長 福澤 麗



平成29年4月に飯田工業高等学校と野原田工業高等学校が統合し、飯田OIDE長姫高等学校として誕生しました。この10年を振り返り、地域産業を担う人材育成に力を注ぎ、生徒一人ひとりの成長と夢の実現に力を注ぎます。

「定時制通信制高等学校生徒生活体験発表大会に参加して」

定時制 基礎工学科
4年 前澤 稜太



定時制通信制高等学校の生徒生活体験発表大会に参加しました。自分の体験を語り、仲間と交流し、成長を遂げました。



同窓会奇贈「シンボルに」

飯田OIDE長姫高校同窓会が、本校に校歌碑を寄贈しました。校歌は、本校の歴史と伝統を伝える重要なシンボルとして、校歌碑の設置が決定されました。

統合10周年記念で校歌碑



統合創立10周年記念式典・祝賀会スケジュール
10月7日(土)
記念式典
会場: 飯田文化会館
祝賀会
会場: シルクプラザ

飯田OIDE長姫高校10周年



旧飯田長姫と旧飯田工業の統合により、県内初の総合技術高校として2013年に開校した飯田OIDE長姫高校が10周年を迎え、実行委員会は7日に統合創立10周年記念式典を飯田文化会館で開く。全日制6科と定時制1科があり、教育方針は「幅広い教養と高い専門性を追究し、社会に開かれた学びを通して平和な未来に貢献できる豊かな人材を育成する」。地域産学官や異業種と協働して新しい付加価値を創造する「協創力」、探求型プロフェッショナル「高度な専門性」、未来の地域人教育の実践を通じた主体的な「課題解決力」の3つを柱とした「地域協創スペシャリスト」を育成している。

飯田OIDE長姫高校10周年

総合ものづくり
高校の魅力多彩に

全日制は、機械工学、電子機械工学、電気電子工学、社会基盤工学、建築学、商業の計6科。機工、材料などを学び、産業界を担う機械技術者を育てる。電子機械は機械や電気電子に加え、制御や情報技術を学び変革に対応するものづくり人材を育成。電気電子工学は情報通信、電子回路、制御、電力の4つを柱に総合力を培う。社会基盤工学は、安全安心な土木構造物の技術工、材料などを学び、産業界を担う機械技術者を育てる。建築学は、2級建築士の資格取得を目指す。電子機械は機械や電気電子に加え、制御や情報技術を学び変革に対応するものづくり人材を育成。電気電子工学は情報通信、電子回路、制御、電力の4つを柱に総合力を培う。社会基盤工学は、安全安心な土木構造物の技術工、材料などを学び、産業界を担う機械技術者を育てる。建築学は、2級建築士の資格取得を目指す。電子機械は機械や電気電子に加え、制御や情報技術を学び変革に対応するものづくり人材を育成。

人気の
テックレンジャー

コンピューター制御部の「高校戦隊テックレンジャー」は飯田下伊那地域では知られた存在。子どもたちの人気もあつく、若者の社会貢献活動をたたえる内閣府の2018年度「未来をつくる若者・ユブ・サイヤ」では県内初の総理大臣賞を受賞している。



人気のテックレンジャーショー

2010年度に旧飯田工業高校電子機械科3年生の課題研究で「FBPマスクの製作」に取り組んだことが始まり。工業の「Technica」にちなんで「テックレンジャー」と命名し、全校課題研究発表会でショーが披露された。

高校が統合して現在の飯田OIDE長姫高校になってからも、毎年キャラクターやアイテムの追加、変更などを行いつつ活動を継続。地域イベントなど年間20回程度、戦隊ヒーロー、テックレンジャーショーを実施している。ヒーローの衣装や武器をはじめ、ショーの演出で使う小道具なども全て

OIDE長姫の10年の歩み

- 2013(平成25)年度
4月・総合技術高校として飯田長姫高校と飯田工業高校が統合 開校式
- 2014(平成26)年度
7月・レール復活 活線踏切 量 社会基盤工学 科
- 2015(平成27)年度
1月・マイコン カラーリー 全国大会優勝(電気部)
- 2016(平成28)年度
7月・現場の最新技術 であるトータルステーション、GPS測量を学ぶ(社会基盤工学科)
- 2017(平成29)年度
9月・信州ECO コンテスト ワークショップを建築士会の協力で初めて開催(建築学科)
- 2018(平成30)年度
4月・制服の導入
- 2019(令和元)平成31)年度
4月・本校初、技能検定木材加工部門2級合格(建築学科)
- 2019(令和元)平成31)年度
5月・マイコンカラーグラフィ初開催(電子機械工学科)
- 2019(令和元)平成31)年度
1月・全国商業高校英語スピーチコンテスト 全国大会出場
- 2019(令和元)平成31)年度
11月・セルビア大使館で交流(商業科)
- 2019(令和元)平成31)年度
10月・定時制の文化祭「紅婚祭」を「桜祭」(7月)とは別に開催
- 2019(令和元)平成31)年度
9月・信州ECO コンテスト ワークショップを建築士会の協力で初めて開催(建築学科)
- 2019(令和元)平成31)年度
4月・本校初、技能検定木材加工部門2級合格(建築学科)
- 2019(令和元)平成31)年度
5月・マイコンカラーグラフィ初開催(電子機械工学科)
- 2019(令和元)平成31)年度
1月・全国商業高校英語スピーチコンテスト 全国大会出場

飯田OIDE長姫高校10周年

原動機部が11連覇



鈴鹿で3部門を制覇した原動機部

原動機部は、7月に鈴鹿3連覇、4台出場中、4席サキット(二重県鈴鹿)も完走し、大会が入賞して開かれた。...

気自動車部は、鈴鹿3連覇、4台出場中、4席サキット(二重県鈴鹿)も完走し、大会が入賞して開かれた。...

OIDE長姫高校同窓会が総会

飯田OIDE長姫高校同窓会(須山和彦会長)は、6月に通常総会を市内で開催した。...



統合後の卒業生を学校推薦理事に

Timeline of events from 2020 to 2022, including department activities, sports events, and school reforms.

飯田OIDE長姫高校10周年

Table listing the school's history from its founding in 1946 to 2023, including various milestones and departmental changes.

Feature article titled '受け継がれる足跡と伝統' (Footprints and Traditions Passed Down), discussing the school's history and the 'OIDE' spirit.

Feature article titled '野球部全国制覇' (Softball Team Wins National Championship), detailing the team's journey to victory.

甲子園で全国制覇を果たした長姫イン

電気工事士

前期試験 19 人合格

2023年(令和5年) 10月7日 土曜日 南 信 州 新 聞

休日返上の努力が結実

OIDE 長姫高校 電気工事士に19人合格

飯田OIDE長姫高校の電気電子工学科と電気機械工学科の1〜3年生19人が、国家資格の第2種電気工事士試験に合格した。休日返上の努力が実った生徒たちは7日、松原均校長に合格を報告した。

第2種電気工事士は、屋内電気配線工事に従事するために必要な資格で、筆記試験と技能試験の両方に合格する必要がある。生徒たちは4月から約2カ月間、オンデマンド学習



電気工事士試験に合格した生徒たち

かなえた。学科試験には53人、技能試験には26人が挑戦。1年1人、2年13人、3年5人の計19人が合格した。

合格報告を受けた松原校長は「大変だったということは自分が頑張った証拠。今回の努力が今後の進路やキャリア形成に役立つのは間違いない」と祝った。

合格した電気電子工学科2年の横田紗穂さん(16)は、職業に関わらず生活の中で役立つ資格と想って挑戦したという。「挑戦を通して学んだことを学校生活に生かしていきたい」と話した。

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校



統合創立 10 周年記念式典開催

南信州新聞

2023年(令和5年)10月9日 月曜日

統合創立10年の節目祝う 記念式典と生徒発表

飯田OIDE長姫高

飯田市の飯田OIDE長姫高校は7日、飯田工業と飯田

長姫の両校の統合から10年の節目を祝う記念式典を飯田市高羽町の飯田文化会館で開いた。

在校生やOB、OGら約1300人が出席。記念式典、生徒発表の2部構成で行った。

会から贈られた吹奏楽用にアレンジされた校歌の楽譜を使い、息の合った演奏をホールいっぱいに



吹奏楽用に編曲した校歌を演奏する吹奏楽部

生徒発表は、生徒が自ら内容を企画し制作に取り組んだ。10年の歩みを編集した動画をスクリーンに投影したり、部活動の紹介と活動内容、近年の活躍ぶりを紹介したりした。

最後に登場した吹奏楽部は、統合10周年を記念し同窓会から贈られた吹奏楽用にアレンジされた校歌の楽譜を使い、息の合った演奏をホールいっぱいに

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校

地域と共に歩む新たな時代へ

飯田OIDE長姫高等学校 統合創立10周年記念式典

7日に開かれた飯田OIDE長姫高等学校の統合創立10周年記念式典で、実行委員長を務めた須山和彦同窓会長は「リニア中央新幹線や三遠南信道の開通を見据え、これからの大きな未来都市を支え、地元へ貢献できる学校となつてほしい」と期待を込めた。

記念品として同窓会から学校に校歌碑、校歌を吹奏楽用に編曲した楽譜、10人乗りワゴン車の目録の贈呈があり、松原均校長は「教育効果が上がるように大切に使用させていただきたい」と感謝の言葉を述べた。

続いて開かれた生徒発表では、全国大会を連覇した実績を誇る原動機部や、コンピュータ制御部員が演じるテックレジャアの地域貢献が評価され内閣総理大臣賞が贈られたことなどが紹介された。

また、今年の県高校総体と7人制大会を制したラグビー部はユニホーム姿でステージ上へ。ラインアウトを披露し会場を沸かせると、これから迎える全国高校ラグビーフットボール大会(花園ラグビー場)の出場権獲得に向けた決意も語った。

同校は2013(平成25)年に飯田長姫高校と飯田工業高校が高校再編により統合し、県内初の総合技術高校として誕生。全日制は機械学、商業の6学科があり、定時制には普学、電気電子工学、社会基盤工学、建築学、通、基礎工学が設置されている。10年間の卒業生は2800人超。

統合創立10周年 新時代へ



飯田文化会館で開かれた統合創立10周年記念式典



2023 Ene-1 MOTEGI GP

「エネルギーとモビリティの未来をつくる、次世代エネルギーモータスポーツ」

開催日：2023年10月15日 開催場所：モビリティリゾートもてぎ

KV-40 単3充電電池40本で動く



手作りの『電気自動車』

3輪以上の車体に動力源となる単3充電電池40本と、モータを載せた車体をドライバーが運転する。小さな車体や機器・部品は市販されていないため、手作りとなる。

KV-Moto 単3充電電池40本で動く



自転車を改造した『電動自転車』

2輪の車体は、市販自転車のフレームを使用し、20インチ以上のリムホイールを組み合わせ製作する。空力のことを考え、ライダーたちは前傾姿勢で運転を行う。

■ 開催カテゴリー・クラス

KV-40、KV-Moto とともに、共通のカテゴリー分けで、総合順位、クラス順位が決定する。

	開催クラス	車両規則	乗員重量
Div1	a: 一般 b: 大学・高専・専門 c: 高校 d: 中学	・車両重量規則なし	53kg 以上
Div-Next	b: 大学・高専・専門 c: 高校 d: 中学	・最低車両重量規則あり KV-40 : 35kg 以上 KV-Moto : 15kg 以上	b: 55kg 以上 c: 53kg 以上 d: 47kg 以上

※車両・乗員重量に満たない場合、競技に応じたバランスウェイトの搭載を行う

■ 競技内容

今大会は悪天候のため KV-40、KV-Moto とともに、「決勝レース」のみ行われた。大会結果は、「決勝レース」の順位によるポイントで決定する。

「決勝レース」

決勝レースでは、各競技・カテゴリーに応じた時間の耐久レースを行う。

KV-40 Div-1 : 60分
KV40 DivNext : 45分
KV-Moto 各 Div : 30分



■ 飯田 OIDE 長姫高校 原動機部 2023 大会結果

KV-40 Div1		KV-40 DivNext	KV-Moto DivNext
WISDOM a	WISDOM	WISDOM II	WISDOM - BIKE
高校生部門：4位 総合：6位	高校生部門：3位 総合：5位	高校生部門：2位 総合：3位	マシントラブルにより リタイア

リニア開通の未来へ

生徒がメッセーjジまとめる

飯田 OIDE 長姫高

独自の人材育成プログラムを実践している飯田OIDE長姫高校で13日、1年生が国語科目で取り組み組んできたテーマ「リニア開通による将来の飯田下伊那のま

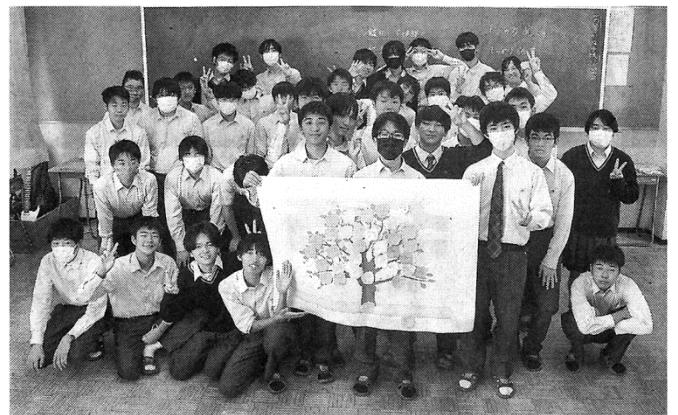
ちづくり」のまとめの会があった。生徒一人一人がまちづくりへの思いを発表した。井上ひさしの小説『ナイン』から、高度経済成長期から1980年代にかけての東京の町並み、コミュニケーションの変化を読み解き、リニア

開通後の飯伊に重ねた。どのような未来を予想するか「どんな未来にしたいか」を考えた。この日は1年C組の約40人が、それぞれの描く未来像を発表。将来プログラムミングの仕事に就く夢を持つ澤柳楓さん(15)

は「情報技術や先端技術が進んだまちなになれば、地域がより発展すると思う」と語り、環境を重視する久保田広優さん(16)は「地球温暖化防止の先頭を行く近代都市を目指してほしい」と発表した。飯田市の伝統工

芸水引や人形浄瑠璃、人形劇フェスタ、JR飯田線の秘境駅、焼き肉のまちなどを取り上げ、地域独自の伝統文化や特色を強みに交流人口の拡大につなげ、地域を発展させたいと考える生徒が多かった。豊かな自然を残しつつ駅周辺は地元の特産を扱う店、商業施設や会社誘致で近代化を進めたい「先進モビリティで安全なまちづくりを」とする意見もあった。

発表後は市リニア振興課がワークショップで使用したリングゴの木の模造紙を使い、それぞれの思いを記したリングゴ型の付箋を貼り付けた。



発表を終えた生徒たちと完成したリングゴの木

1年生国語授業 地域協創学習

リニア開通後の未来を語る

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校

歴史に学び平和を考える

OIDE 長姫高

飯田OIDE長姫高校の生徒2人が14日、駒ヶ根市の料理店で開かれた「カフエde平和ゼミナール」に参加した。地元赤穂高校の卒業生と平和について対談などし、過去の戦争の歴史から、どうすれば平和な世の中が築けるかなどを一緒に考えた。

長姫高は「地元の歴史を学ぶ、平和への決意と想いを語る」として、今年4月に開催された今夏の「中高生記者米国派遣」に参加した取材経験から平和への思いを語った。ロシアとウクライナによる戦争や、イスラエル地域での紛争など絶えぬいが、歴史を学び平和を考えることが大事。軍事国家のアメリカでも平和を一番に考えている人はたくさんいる。こうした意識を持つ人が増えることで平和的解決や根本的解決に向

ていきたいと発表。同2年の鶴田悠真さんは4年ぶりに開催された今夏の「中高生記者米国派遣」に参加した取材経験から平和への思いを語った。ロシアとウクライナによる戦争や、イスラエル地域での紛争など絶えぬいが、歴史を学び平和を考えることが大事。軍事国家のアメリカでも平和を一番に考えている人はたくさんいる。こうした意識を持つ人が増えることで平和的解決や根本的解決に向

駒ヶ根の平和ゼミに参加



平和ゼミナールに参加した飯田OIDE長姫高の生徒(写真中央)

かつていくと考える「茶を飲みながら気軽に平和について考える」などと語った。ゼミナールは、おてもらう機会、2019年に赤穂高校平和ゼミナールがベリナル料理店「カナン&アンサンテ」で開いたのがはじまり。今回は4年ぶりだった。店主の小笠原一博さんは青年海外協力隊の活動から現在NPO法人ハンダグラーハートを立ち上げて支援を続けている。「人と人が違いを認め合い、助け合って暮らしている社会をつくるため、歴史の教訓に学び、平和について考える良い機会になった」と話していた。

平和ゼミナールで 平和への決意と想いを語る

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

テックレンジャー 鼎切石区文化祭に出演

2023年(令和5年)10月20日 金曜日

南信州新聞

第3種郵便物認可

6

飯田市鼎切石区

文化祭&秋まつり

多世代が楽しめる多彩な催し

飯田市鼎の切石会館で22日、「切石文化祭&秋まつり」が開かれる。作品展示やステージ発表、飯田OIDE長姫高校コンピュータ制御部「高校戦隊テックレンジャー」ショーなど、子どもから大人まで楽しめる催しが盛りだくさん。実行委員が主催する。午前10時～午後5時。

スローガンは

「元氣な切石づくり」

これまで子ども向けに開く秋へ移行、初めて文化祭催している同地区の夏まつりと同時開催する形となり、幅広い年代に楽しんで



子どもから大人まで楽しめる催しを用意している(2021年の夏まつり)



「テックレンジャー」のメンバーがステージで披露する

盛りだくさんなプログラム

文化祭展示は午前10時から

児童の作品、鼎中学校PTAによるAによる生徒の作品を並べ、写真と書道、手芸の各クラブによる日頃の成果を披露した展示もある。自治会役員の見学は初の試み。盆舞や絵巻など、思い思いの作品を持ち寄る。同10時からのもちんかみでは、カレーとフットクリム、飲み物を販売する。正午からは飲食屋台が並び、鼎壮団切石支部が並ぶ。鼎切石地区のランクルトと焼きそば、缶詰、飯田商工会議所支部切石支会が焼き鳥とおでん、五平餅、生ビールなど、鼎勤労協切石支部がわたがしを販売する。

もろおと、飲食ブースや企画などだに計画文化祭への来場者数の増加を掲げて準備してきた。

22日

同じく正午から飯田市消防団15分団が消防車を展示、席席に座ったり、写真を撮ったりできる。午後2時からは用紙を配布、自由に絵を描くことができ

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校

ラグビー準決勝快勝

決勝は飯田高校と

2023年(令和5年) 10月24日 火曜日

南 信 州 新 聞

決勝は15年ぶり飯伊勢対決へ

高校ラグビー 県予選 O長、飯田が準決勝を突破

花園につながる第103回全国高校ラグビー大会県予選は21日、準決勝2試合を飯田市総合運動場で行い、飯田OIDE長姫と飯田が決勝に駒を進めた。シード校のOIDE長姫は2年連続、飯田は3年ぶりの決勝進出。飯伊勢が決勝でぶつかるのは15年ぶりとなる。決勝は11月3日に長野市のウスダシームで行われる。

2013年の学校 野牧が前半13分、同統合後では初の花園 26分にトライを挙げ出場を目指すO長 主導権を握ると、は、決勝を見据えて 後半は4トライで突きサインプレーやモータキ放し、合同チームを相手に34-8で快勝した。

「大会への気持ちは出来上がっている相手との対戦は大変だったが、後半は意識を引き締めて戦うことができた」と振り返り、「全てを出し切って花園に行きたい」と力を込めた。

小林監督は「前半3分に先制を許したことで「強みのモールでシンプルに戦うよう切り替えた」と説明。「身体が大きな選手が多く、きっちり」と形を作れば押し切れる自信はあった」と話した。



2年連続で決勝進出を決めたOIDE長姫



得意のモールで押し込む飯田



現在部員は17人で、3年生は2人のみだが、今年は中学でラグビーを経験した1年生が多く加入した。決勝に向けて鈴木主将は「昨年負けた相手に勝つて勢い付いた」と力を込め、小林監督も「春(県高校総体)は大敗した相手だが、若いチームの伸びしろで下馬評をひっくり返して花園に行きたい」と語った。

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

飯田	47	26	21	10	14	24	2
OIDE	34	22	13	5	3	8	0
長姫	34	22	13	5	3	8	0
チーム	24	10	14	2	0	0	0
試合	2	1	1	0	0	0	0
工	0	0	0	0	0	0	0

11月3日 長野県大会決勝

祝 優勝

飯田OIDE長姫 28 対 24 飯田

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校

商業科生、羽場文化祭で縁日を企画

多彩な催し盛り上がる

羽場地区祭 高校生が縁日初企画



OIDE長姫生が子ども向け縁日を初企画した

飯田市羽場地区の文化祭が28、29の両日、羽場公民館と羽場中央公会堂で開かれた。4年ぶりに飲

食が復活。作品展示や芸能発表など多彩な催しに多数の住民が参加した。羽場地区で課題研

究をしている飯田OIDE長姫高校商業科3年生が参加し、親子連れの来訪者を増やしたいと子ども

温かさを感じた。自分も住む地域を大切にすする大人になりた

29日には飯田市赤十字奉仕団羽場分団が炊き出しを行い、

向けの縁日
を初企画。
射的や輪投
げ、ヨーヨー
釣りを行
い、多くの
子どもたち
が集まっ
た。
同校の本
阿莉子さん
(18)は「不
安があった
が楽しんで
もらえてう
れしい」と
喜び、「課題
研究を通し
て羽場地区
の皆さんの
温かさを感じた。自
分も住む地域を大切
にする大人になりた
い」と話した。
オープニングセレ
モニーでは
飯田西中学
校吹奏楽部
が演奏し、
羽場獅子舞保存会が
祝舞を披露した。約
10年続く西中生徒と
まちづくり委員会と
の座談会も開催。西
中が取り組むSDG
sを中心に、地区に
関して意見を自由に
出し合い「住民と西
中のコミュニケーション
に回覧板を有効
活用しては」との声
が上がっていた。
館内では小中学生
や地域サークルの作
品を展示。丸山小1
50周年記念パネル
も飾った。

おにぎりや豚汁を振
る舞い、羽場セント
ラルパーク周辺では
38回目となる駅伝大
会もあった。
実行委員長の佐々
木祥二公民館長は
「地区を挙げて多く
の住民に協力してい
ただき、多彩な行事
が開けた」と感謝し
「コロナ禍以降個人
の展示発表が少なく
なっているが、今後
増えていくのを期待
したい」と話した。

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校

電気部 ロボコンin信州 2部門で入賞 マイコンカー北信越大会へ

2023年(令和5年) 11月1日 水曜日

南 信 州 新 聞

OIDE 長姫電気部

ロボコンin信州

10月6、7日に下諏訪町で開催された真工業高等学校ロボコン競技大会「ロボコンin信州」で、飯田OIDE長姫高校の電気部が躍進した。マイコンカー部門で優勝者を含む3人が上位入賞し、キャリア部門でもアイデア賞を受賞した。

マイコンカー部門では、いずれも電子機械工学科の宮嶋一希さん(3年)が優勝、小木曾太論さん(同)が3位、増田陽さん(1年)が特別賞を受賞した。細かな調整を繰り返しながら、より速く、かつ安定して走るマシンに仕上げるのがポイント。昨年も優勝し、2連覇を果たした宮嶋さんもその点に苦慮したという。大会に向けて調整を繰り返したものの、直前まで思い描いた結果が出ず、結局は昨年のモデルでの出場となった。「去年のような走りであれば上位入賞は可能だと思っていたが、まさか優勝できるとは。安定して走れたのが勝因」と大会を振り返った。

今年25、26日には長野市で北信越大会が開かれる。宮嶋さんは昨年2位で、全国大会はベスト16だった。3年生として最後の大会

マイコンカー・キャリア部門で躍進

で、昨年以上の好成績を目指している。

小木曾さんも昨年の北信越5位、全国ベスト16を超える成績を目指し、「前例のない調整を施している。3年間の集大成としたい」と意気込む。1年生の増田さんは「完走を目標に少しでも上の順位を狙いたい」と来年につなげる力試しの大会にする構えだ。

キャリア部門は、リモコン型と自立型ロボットを操り、コース内での運搬や停止などの操縦技術の正確性を競うチーム戦。同校から

は電気電子工学科の小嶋彬英さん(3年)、社会基盤工学科の小澤歩夢さん(同)、電気機械工学科の小柴卓真さん(同)、同科の溝口空翔さん(2年)が出場し、アイデア賞を受賞した。副部長の小嶋さんは「正直、入賞するとは思わなかった。驚きの方が大きかった。自分たちの力を信じて取り組んできて良かった」と話した。キャリア部門は3年生にとっては最後の知識と経験を得て、思い出深い部活動になった」と感慨深そうに振り返っていた。



ロボコンに出場した飯田 OIDE 長姫電気部

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田 OIDE 長姫高等学校



高校野球 秋季地区交流戦 快勝スタート

0長2勝しリード

高校野球の秋季交流戦

飯伊地区の高校野球秋季交流戦(飯伊地区高校野球連絡会主催)は10月28、29日、綿半飯田野球場で計4試合を行った。

南信連合 20001011
20054×11
OIDE長姫

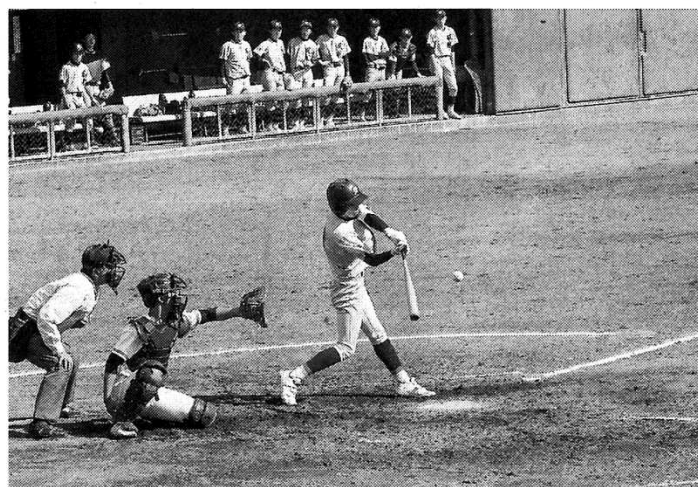
高校野球



修、阿智、阿南)の計6チームで優勝を競う。28日に開幕し29日、11月3、4日の日程。ブロックごとの総当たりで順位を決め、4日に決勝、3・4位決定戦、5・6位決定戦を予定する。

▽28日
南信連合
20001011
20054×11
OIDE長姫

▽29日
飯田
0000002002
00000121×4
OIDE長姫



投手戦を繰り広げる松川一風越

交流戦はOIDE長姫、飯田、松川、風越、下伊那農と南信連合(富士見、茅野、岡谷東、箕輪進

▽28日

松川 10000000×1
風越 0000000010
OIDE長姫 0000000010

飯田 0000002002
00000121×4
OIDE長姫 0000000010

下伊那農 10230
風越 01104×166

(下農) 佐々木、原
(風越) 後藤、池内

OIDE 長姫

前身から49年ぶりV

高校ラグビー 飯田との接戦制し聖地花園へ



飯田勢同士がぶつかった高校ラグビー県決勝



優勝した飯田 OIDE 長姫

花園につながる第103回全国高校ラグビー大会県予選決勝は3日、長野Uスタジアム(長野市)で行い、飯田OIDE長姫が28-24で飯田を破った。同校の

花園につながら第103回全国高校ラグビー大会県予選決勝は3日、長野Uスタジアム(長野市)で行い、飯田OIDE長姫が28-24で飯田を破った。同校の

優勝は、前身の飯田長姫が制した1974(昭和49)年大会以来で49年ぶり3度目。野牧聖太主将は「全国の舞台でも自分たちの力を発揮す」と花園へ向けて

目標を掲げた。飯田勢同士の決勝は2008年の飯田一下伊那農業以来15年ぶり。青空の下、青のジャージーのOIDE長姫と白と緑のジャージーの飯田が激突した。OIDE長姫は前半6分、SO後藤慶のトライで先制。持ち味の展開力を生かしたラグビーで得点を重ねた。前半を21-7で折り返し主導権を握ると、後半10分には後藤慶がこの試合3つ目のトライを決めて突き放した。終盤は飯田が得意のモール攻撃で猛追するが、OIDE長姫は粘り強い守備で逆転を許さず。悲願の花園への切符をつかんだ。

スタンドには選手や保護者や両校OB、地元ラグビースクール「南信州ジュニア」の中学生らが駆け付けて選手たちに声援を送り、ノースの笛が鳴り響くと歓声が沸き起こった。

就任6年目の中村光希監督は「前半から想像以上にいいゲームをしてくれた」と選手をねぎらい、「この6年間、選手たちの頑張りやOB会などいろいろな人たちの支えがあり、その結果がこの代で出た」と卒業生や地域住民に感謝。花園に向けて「全国で簡単に負けるチーム作りはしてきていない」と自信をのぞかせた。

野牧主将は「多くのサポートがあり、1年間やってきたことを全部ぶつけることができた」と話していた。

前身の飯田長姫は1974年の県大会で優勝したものの、信静大会で静岡県の高校に敗れて花園出場を逃したため、花園出場は57年ぶり2度目となる。飯田は2年ぶり11度目の花園を狙ったが及ばなかった。

▽決勝 長野Uスタジアム
O長28(71-17) 24飯田
(4面に関連記事)

全国大会は12月27日に大阪府東大阪市の花園ラグビー場で開幕する。

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

対策徹底し、リード作る

OIDE 長姫 昨年の雪辱晴らすV



展開力を生かしリードをつくったO長

「春の大会(県高校) うと予想していた」得意とするモールを総体のころから決 と語るOIDE長姫 組ませず、反則を少 勝はうちと飯田だろ の中村監督。飯田が なくすることを徹底



モールで攻める飯田

して前半で大きなり え、本年度は3年生 ードを作り、逃げ切 が日替わりで主将を つた。昨年、48年ぶ りに出場した決勝で の決勝の主将に中村 岡谷工に敗れた雪辱 監督が指名したのは CTB野牧。昨年一 台への道を開いた。 番悔しい思いをした 昨年の岡谷工戦で 選手」と理由を語っ た。



健闘をたたえ合うO長と飯田の選手

「もう少し時間があれば」 飯田 モール武器に猛追もおよばず OIDE長姫は、 田は得意とするモ 5月の県高校総体準 ル攻撃で最後の最後 決勝で17-42で大敗 まで諦めず猛追。小 した相手だった。飯 林監督は「春からの

けた。「一番近々で見 3つのトライを奪 いていただけに、本当 けて勝利の立役者に 悔しかった」と語 になった2年生のSO 後藤慶は、昨年の決 試合が変わってく 勝は後半途中で負傷 毎日練習を重ねて きた努力が報われ 退場。接戦だった試 合はその後、大きく 突き放され、悔いの 残る結果だった。こ の日は相手の守備の 隙を見逃さずに切り

込み、4つのコンバ ード、2つのトライを 奪った。指揮官は「飯 田と岡谷工の2強を 崩したいと始まった が、7人がつないで くれたから今があ る。OB会や保護者 への熱心なサポート にも感謝し、57年ぶ りの花園へ気を引き 締めた。



積み重ねで競ること ができた」と選手を たたえた。 モールは小林監督 が就任した3年前か ら一貫してチームの 武器だ。部員数が少 なく、勉強との両立 のため練習時間も限 られる中、モールは 緊張していても力が 出せる。花園でも通 用するラグビーを心 につけてきたことをや り直した。新チー ムには決勝を経験し た1、2年生15人が 残る。「春から大きく 成長した。次こそは 花園で活躍してほしい」と後輩たちにエ ールを送った。

吹奏楽部

定期演奏会を開催

南 信 州 新 聞

2023年(令和5年)11月7日 火曜日

OIDE長姫高

多彩なジャンルの曲披露

吹奏楽部 定期演奏会



飯田OIDE長姫高吹奏楽部の定期演奏会

飯田OIDE長姫高校の吹奏楽部は4日、第11回定期演奏会を飯田文化会館で開いた。在校生や保護者、卒業生ら多くの観客が見守る前で、この日に向けて練習を積んだ多彩なジャンルの曲を披露した。

3部構成のステージで、1部に同部の単独演奏、2部にテイスニーの名曲を演奏しながらステージ上を縦横に動くステージドリル、3部にOGとの合同ステージを展開した。

第1部では映画音楽やJポップ、今年のコングールで演奏した曲など計5曲を披露した。ロックバンド・モンゴル800の「小さな恋のうた」では、ノリの良いアップテンポな曲調と、それに合った一体感ある演奏で客席を魅了。自然発生的に大きな拍手が湧きおこる盛り上がりを見せた。コングールの自由曲で使用した「春の

猟犬」は、20世紀を代表する管弦楽の作曲家・アルフレッド・リードの作品で、冒頭の管楽器の壮大な演奏から、次第に情緒的な曲調へと移り、クライマックスはロマンチックに締めくくる抑揚がある雄大な曲。同部は「私たちにとって思いついた」と紹介し、熱心に取り組んだ愛着のある曲をホールいっぱい響かせた。

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校

丸山地区文化祭 ピザ焼き体験協力

2023年(令和5年) 11月8日 水曜日

南信州新聞

多彩な発表でにぎわう

丸山地区文化祭 高校生参加しピザ焼きも

飯田市丸山地区の文化祭が4、5の両日、丸山公民館で開かれた。地区内の子どもから高齢者までが多彩な作品を展示し、活動の成果を発表。高校生も参加したピザ焼き体験もあり、多くの人でにぎわった。

丸山小学校の4～6年生30人でつくる金管バンド「かざこしジュニアバンド」の演奏で開幕。約100人が集まり、くす玉を割って開催を祝った。



多くの来場者の前で演奏する丸山小のかざこしジュニアバンド

形で元気いっぱい演じた。4日は午後6時からの発表もあり、最後は丸山行進曲を皆で踊った。館内では20以上の団体が作品を展示。特別展示として丸山小開校150周年の記念写真展があり、特別企画として和紙で星をつくる体験もあった。

飯田OIDE長姫高校商業科3年生の地域人教育丸山班も参加し、まるやま石窯部との初コラボで、公民館にある石窯を使ったピザ作り体験を企画。参加者は自分でトッピングした出来たてのピザに喜び、同校の山村珂乃さん(18)は「地域のひとと新しいことに取り組めて自分も楽しかった」と話した。

公民館前では焼き鳥やポップコーンなどを販売。飯田市赤十字奉仕団丸山分団が綿あめを作り、パン焼き体験もあった。

藤本清明公民館長は「コロナの影響で展示は減っているが、多くの人に来場していただきありがたい。1年に1度成果を発表し、人に見てもらう場は大切。地域の活力につながる」と話していた。

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校

高校野球 飯伊地区秋季交流戦

優勝

OIDE 長姫が優勝
高校野球の秋季交流戦

飯伊地区の高校野
球秋季交流戦(飯伊
地区高校野球連絡会

主催)は4日、決勝
を綿半飯田野球場で
行い、OIDE長姫
が7-3で松川を下
した。

OIDE長姫は終
盤の好機を逃さず得
点へと結び付け、粘
る松川を退けた。井
口監督は「狙って取
れた優勝」と評価し
た一方、「個々の勝負
となるとまだまだ」
と冬場に向けて課題
を指摘した。

▽決勝
OIDE長姫

0100000337
0000000033

松川

(O長) 畔上、前沢

―古山

(松川) 原―寺沢



優勝したOIDE長姫

▽3位決定戦

風越

0011000035
010000110035

飯田

(風越) 後藤、宮沢

―池内

(飯田) 松村―赤羽

▽5位決定戦

南信連合

801000004
40100110004
1113

下伊那農

(連合) 小原、竹村

―征矢

(下農) 原、熊谷龍

―伊藤

▽3日の結果

松川

00300210006
50000000005

下伊那農

(松川) 原、下島

原―寺沢

(下農) 熊谷嘉、大
野、近藤―伊藤

南信連合

1000000102
000000024×6

飯田

(連合) 征矢―羽生

(飯田) 山崎―佐々

木、赤羽

高校
野球

BASEBALL



【ラグビー部】

上郷なかよし保育園でラグビー教室 園児と共にラグビーを楽しむ

2023年(令和5年) 11月17日 金曜日

南 信 州 新 聞

競技の楽しさを伝える

花園出場の OIDE長姫 保育園でラグビー教室

花園に出場する飯田OIDE長姫高校ラグビー部は13日、飯田市上郷飯沼の上郷なかよし保育園でラグビー教室を開いた。部員37人が園児と交流しながらラグビーの楽しさを伝え

た。小さいうちからラグビーを身近に感じてもらおうと開き、

ながら障害物をかわして走る競走などを実施した。

思い出がラグビーを始めるきっかけになったら」と期待していた。

園児34人が参加。2チームに分かれて相手陣地のボールを奪い合うゲームや、ボールを抱えな

りながらボールの持ち方や投げ方を部員から教わった園児たちは、楕円形のボールの扱いに苦戦しながらも元気に園庭を駆け回ってラグビーの魅力

を体験。清水律希君(6)は「ボールを持って走るのが楽しかった」と笑顔を見せた。

園児の要望を受け、部員らはスクラムとラインアウトを披露。高くジャンプしてボールをキャッチする姿を間近で見た園児たちは「すごい」と拍手を送った。

部員らはスクラムとラインアウトを披露。高くジャンプしてボールをキャッチする姿を間近で見た園児たちは「すごい」と拍手を送った。

園児たちは花園での活躍を期待して手作りミサンガとメッセージを書き入れた模造紙をプレゼントした。



OIDE長姫高ラグビー部が園児と交流

園長で3年の秋元航太郎さん(18)は「今日の

高校エコカーレース総合大会で 祝 優勝 2年ぶり6回目

2023年(令和5年) 11月23日 木曜日

南 信 州 新 聞

飯田OIDE長姫高 エコカーレース大会で優勝 チャレンジ大会でも3人が入賞

飯田OIDE長姫高校の原動機部が10月と11月に開かれた2つのエコカー全国大会に出場し、それぞれで好成績を収めた。

11日に愛知県豊橋市で開かれた「第21回高校エコカーレース総合大会」では、機械工学科2年の原煌弥さんがオープンクラス部門(15台エントリー)に出場し、優勝した。

車体構造素材やモーターに指定がないクラスで、50分間の競技時間内に周回した回数で競った。過去、7回出場のうち5回の優勝を誇る同部門だが、昨年は3位と、やや不本意な結果だった。雪辱に燃える今回



豊橋市で開かれた高校エコカーレース総合大会



栃木県茂木町で行われた Ene-1 MOTEGI GP

は2位に1周差をつける大差での勝利。常勝チームの復活を印象つけた。原さんは「先輩の雪辱を果たすことができた」とほっとした表情を浮かべ、「大きなトラブルもなく走り切れたのはチームの勝利だ」と胸を張った。

10月15日に栃木県茂木町で開かれた「Ene-1 MOTEGI GP」では、KV-40チャレンジ全国大会(エントリー71台)に参戦。充電式単3乾電池40本を動力源とする車両で、タイムアタックと定められた時間を走行する決勝レースの合計ポイント

差でフィニッシュに入った。途中まで1位を走るラップで抜かれ、5秒差でのフィニッシュに入った。

ユとなった。初出場2位の結果について「スタート前はすごく緊張していたが、走り始めたら無我夢中になり、気がついてたらトップを走っていた。自信になる大会だった」と次は頂点を目指す。

車両重量制限なしのカテゴリー(49台エントリー)では、電子機械工学科2年の相山隼大さんが高校部門3位(総合5位)、原さんが高校部門4位(総合6位)に入賞した。相山さんは「悔しい思いはあるが、慣れない雨中での走行で、結果を残すことができたことは良かった」と振り返った。

使用しているマシンは先輩から代々引き継がれているもの。傷んだ箇所を修繕したり、メンテナンスを行いながら、部の伝統を紡いでいる。次は12月に大阪で開催される大会に臨む予定。

パソコン技術部 エス・バードで地域貢献活動

子ども科学工作教室の講師を務める

高校生らが講師役に

飯田市で子ども科学工作

飯田市工業課などが幹事を務める「子ども科学工作教室運営協議会」主催の科学工作教室がこのほど、エス・バードで開かれた。飯田下伊那地域の小学生63人が参加。高校生や地元企業の社員からアドバイスを受けながら工作し、科学の魅力に触れた。

1992年から継続している教室で、本年度2回目。

飯田OIDE長姫高校や夏目光学、天龍、KOA、シチズン時計マニファクチャリング、飯田精密などが協力し、天体望遠鏡と燃料電池カーのテーマごとキットを製作した。子どもたちは夢中

になって組み立て、完成後は実際に動き、満足そうに作品を手にする児童の姿も。天体望遠鏡に挑戦した児童は「接着のところが難しかったけど遠くまでよく見えてうれしかった」と語り、燃料電池カーを選んだ児童は「細かいところを組み立てるのが難し

かったけどうまく動いてよかった」と話していた。



天体望遠鏡を作成



全国高校ラグビー大会組合せ決まる

第103回 全国高校ラグビー大会組み合わせ

佐賀工(佐賀)⑤②	12/30 9:30 I	I
青森山田(青森)⑤	12/27 12:00 I	
高鍋(宮崎)⑪	1/1 10:30 I	I
静岡聖光学院(静岡)⑧	12/27 12:00 II	
秋田工(秋田)⑦	12/30 9:30 II	II
若狭東・敦賀工(福井)⑩	12/27 12:00 III	
目黒学院(東京第2)⑫	12/30 9:30 III	III
尾道(広島)⑬	12/27 13:25 II	
高知中央(高知)⑨	1/1 10:30 III	III
流通経大柏(千葉)⑪	12/27 13:25 I	
天理(奈良)⑬	12/30 10:45 I	I
早実(東京第1)⑧	12/27 13:25 II	
関大北陽(大阪第1)⑩	12/30 10:45 II	II
中部大春日丘(愛知)⑬	12/27 13:25 III	
高松北(香川)⑮	1/1 11:55 I	I
倉吉東(鳥取)⑬	12/27 14:50 I	
山梨学院(山梨)⑦	12/30 10:45 III	III
長崎南(長崎)⑦	12/27 14:50 II	
国学院栃木(栃木)⑫	12/30 12:00 I	I
茗溪学園(茨城)⑫	12/27 14:50 II	
日本航空石川(石川)⑮	1/1 11:55 III	III
関商工(岐阜)⑫	12/27 14:50 III	
仙台育英(宮城)⑩	12/30 12:00 II	II
黒沢尻工(岩手)⑫	12/28 10:00 I	
大分東明(大分)④	1/1 13:20 I	I
桐蔭学園(神奈川)⑫	12/28 10:00 II	
松山聖陵(愛媛)⑧	12/30 13:15 I	I
近大和歌山(和歌山)⑤	12/28 11:25 II	
倉敷東(岡山)③	1/1 13:20 III	III
川越東(埼玉)②	12/28 10:00 III	
山形中央(山形)⑫	12/30 13:15 I	I
光泉カトリック(滋賀)⑬	12/28 10:00 II	
報徳学園(兵庫)⑫	12/30 13:15 II	II
明和中央(群馬)⑩	12/28 11:25 I	
北越(新潟)②	1/1 13:20 III	III
飯田OIDE長姫(長野)②	12/28 11:25 II	
高川学園(山口)⑩	12/30 13:15 III	III
東海大大阪仰星(大阪第3)⑫	12/30 14:30 I	
石見智翠館(島根)⑬	12/28 11:25 III	I
京都成章(京都)⑮	1/1 14:45 I	
富山第一(富山)⑮	12/28 12:50 I	I
鹿児島実(鹿児島)⑫	12/30 14:30 II	
札幌山の手(北海道)⑫	12/28 12:50 II	II
大塚桐蔭(大阪第2)⑮	12/28 12:50 III	
大遠城名学(徳島)⑮	12/30 14:30 III	III
法福(福島)③	1/1 14:45 III	
九州学院(熊本)④	12/28 14:15 I	I
東福岡(福岡)⑮	12/30 15:45 I	

丸数字は出場回数、⑩は初出場
 全試合30分ハーフ、I、II、IIIは使用グラウンド
 準々決勝以降の組み合わせは抽選

○長、高川学園と初戦

高校ラグビー組み合わせ決定



27日に東大阪市花園ラグビー場で開幕する第103回全国高校ラグビー大会の組み合わせ抽選会が2日、大阪市内であ

った。57年ぶり2度目の出場となる県代表の飯田OIDE長姫は、28日の1回戦で初出場の高川学園(山口)と対戦す

る。勝てば30日の2回戦でBシードの東海大大阪迎星(大阪第3)と当たる。連覇を狙う東福岡(福岡)、今春の選抜

大会優勝の桐蔭学園(神奈川)、夏の7人制大会を制した佐賀工のAシードと、大阪桐蔭(大阪第2)などBシード10校は2回戦から登場する。準々決勝、準決勝のカードは改めて抽選する。

新型コロナウィルスの影響で中止になっていた開会式は4大会ぶりに実施。選

手宣誓は秋田工の大沢空主将が務める。

初戦

高川学園(山口)と

28日11:25キックオフ

同窓会

全国大会出場のラグビー一部を激励

南信州新聞 2023年(令和5年)12月10日 日曜日

花園で「ラグビー楽しんで」

OIDE長姫高 同窓会が選手たちを激励

飯田OIDE長姫高校で8日、第103回全国高校ラグビー大会に出場するラグビー部を応援しよう、同校同窓会主催の激励会が開かれた。須山和彦会長らが来校し、57年ぶりの出場となる選手たちに「花園の舞台を楽しんで」とエールを送った。

飯田OIDE長姫高校で27日に開幕し、28日の1回戦で初出場の高川学園(山口)と対戦する。村光希監督は「良い準備をしっかりとし、県代表に恥じない戦いをしたい」と語った。須山会長は飯田との決勝戦を振り返り、「昨年の決勝戦よりもずっと強くなっていた。これなら花園に行っても大丈夫だと感じた」と選手たちをたたえ、「支えてくれる家族への感謝を忘れず、ラグビーを愛して楽しむつもりで行ってほしい」と呼び掛けた。



激励を受けたOIDE長姫のラグビー部

同校ラグビー部は現在、部員41人で活動。11月に行われた県予選決勝で飯田高校を破り、49年ぶりの優勝を果たした。全国大会は東大阪市花園ラグビー

ラグビー部飯田市役所を訪問 花園出場を報告

南信州新聞

2023年(令和5年)12月17日 日曜日



市長表敬する飯田OIDE長姫高の3年生

いる。県代表として出場している。

制大会にも

国高校7人

の第10回全

なる。7月

り2度目と

以来57年ぶ

の飯田長姫

場は統合前

た。花園出

優勝で飾っ

年の節目を

発足から10

3年の統合

り、201

飯田を破

予選決勝で

この日、マネジャーを含む3年生10人が訪問。矢澤優成さん(18)は初戦の相手を意識して「一つの練習を大切にしている」と胸を張り、「1勝と言わず、優勝を狙っていく」と意気込みを語った。

佐藤市長と熊谷邦千加教育長が応じ、

佐藤市長は現地で観戦した県予選決勝を振り返った上で「全国でも持っている力を出し切ってほしい」と激励した。

大会は27日に大阪府東大阪市の花園ラグビー場で開幕し、

飯田OIDE長姫は28日の1回戦で高川学園(山口)と当たる。

ラグビーの第103回全国高校大会に

飯田OIDE長姫

藤健市長らを訪ね、

花園に向けてそれぞれ

意気込みを語った。

11月の県

予選決勝で

飯田を破

り、201

3年の統合

発足から10

年の節目を

優勝で飾っ

た。花園出

場は統合前

の飯田長姫

以来57年ぶ

ラグビー部 花園出場①



折・健闘
飯田OIDE長姫高校同窓会

会長 須山和彦

事務局：飯田市名古熊2535-2

TEL.0265-52-2255 / FAX.0265-48-5422

決勝は1月7日

連覇を狙う東福岡(福岡)、今春の選抜大会優勝の桐蔭学園(神奈川)、夏の7人制大会を制した佐賀工のAシードと、大阪桐蔭(大阪第2)などBシード10校は2回戦から登場する。準々決勝、準決勝のカードは改めて抽選する。新型コロナウイルスの影響で中止になっていた開会式は4大会ぶりに実施。選手宣誓は秋田工の大沢空主将が務める。

飯田OIDE長姫高校ラグビー部が、27日に東大阪市ラグビー場で開幕する第103回全国高校ラグビー大会(日本ラグビー協会など主催)に出場する。学校統合後初めて、前身の飯田長姫を含めると57年ぶり2度目の花園になる。高川学園(山口)との初戦は28日午前11時25分開始予定。勝てば30日の2回戦でBシードの東海大大阪迎星(大阪第3)と対戦する。

全国高校ラグビー
27日開幕

ラグビー部 花園出場②

2023年(令和5年)12月21日 木曜日

南信州新聞

第3種郵便物認可

6



OIDE長姫の選手たち

ラグビー部は、11月30日(土)に開催された第103回全国高校ラグビー大会予選決勝戦で、長野県代表として出場した。試合は、OIDE長姫が28-24で飯田を破り、飯田対決を制した。同校の優勝は、飯田長姫時代、1974(昭和49)年大会以来で49年ぶりの栄冠となった。

飯田勢同士の決勝は2008年の飯田(下伊那農業)以来15年ぶり。OIDE長姫が持ち味の展開力を生かしたラグビーで得点を重ね、主導権を握った。最終は飯田が得意のキック攻撃で猛追するが、粘り強い守備で逆転を許さず、悲願の花園への切符をつかんだ。

スタンドには選手の保護者や両親、地元が駆け付けて両校の選手が歓声をあげた。



飯田と対戦した県予選決勝

49年ぶり 県の頂点

花園につながる高川学園は初出場ではあるが、今年7人制の全国大会で14位に入る実力のある学校。中村監督は「中高一貫のスポーツ強豪校で、留学生選手も日った選手は現在4人まで増えた。毎年毎年選手が積み上げてきたものが結果的に今年花開いた」と話し、「1年間やっつきを掛け、ミスを誘ってな

応援したくなる試合を 全国の舞台へ意気込み

切り、見に来てくれた人がまた応援したくなる試合をしたい」と力を込めた。

第103回 全国高校ラグビー大会組み合わせ

佐賀工(佐賀)⑤	12/30 9:30 I	I
青森山田(青森)⑤	12/27 12:00 I	
静岡聖光学院(静岡)⑧	1/1 10:30	II
秋田工(秋田)⑦	12/27 12:00 II	
若狹東・教賢工(福井)⑥	12/30 9:30 II	III
目黒学院(東京第2)②	12/27 12:00 III	
尾道(広島)④	12/30 9:30 III	I
高知中央(高知)⑨	12/27 13:25 II	
流通経大柏(千葉)③	1/1 10:30	II
天理(奈良)⑧	12/27 13:25 I	
早実(東京第1)⑧	12/30 10:45 I	III
関大北陽(大阪第1)④	12/27 13:25 II	
中部大春日丘(愛知)⑩	12/30 10:45 II	I
高松北(香川)⑤	12/27 13:25 III	
倉吉(鳥取)③	1/1 11:55	II
山崎南(山梨)⑦	12/27 14:50 I	
国学院栃木(栃木)②	12/30 10:45 III	III
茗溪学園(茨城)②	12/27 14:50 II	
日本航空石川(石川)⑥	12/30 12:00 I	I
関商工(岐阜)④	12/27 14:50 II	
仙台育英(宮城)⑧	1/1 11:55	II
黒岩工(岩手)⑩	12/27 14:50 III	
大分東明(大分)①	12/30 12:00 II	III
桐蔭学園(神奈川)②	12/27 14:50 II	
松山聖陵(愛媛)⑧	12/30 12:00 III	I
近大和歌山(和歌山)⑤	12/28 10:00 I	
川越東(埼玉)②	1/1 13:20	II
山形中央(山形)③	12/28 10:00 II	
光泉カトリック(滋賀)⑩	12/30 13:15 I	III
報徳(兵庫)④	12/28 10:00 III	
明和(群馬)⑩	12/30 13:15 II	I
飯田OIDE長姫(長野)②	12/28 11:25 I	
高川学園(山口)⑦	1/1 13:20	II
東海大仰光(大阪第3)③	12/28 11:25 II	
石見智翠館(島根)③	12/30 13:15 III	I
京都成章(京都)⑤	12/28 11:25 III	
富山第一(富山)⑤	1/1 14:45	II
富山実業(富山)②	12/28 12:50 I	
札幌山の手(北海道)⑩	12/30 14:30 II	III
大遠(大阪第2)⑦	12/28 12:50 II	
城名(北北海道)①	12/30 14:30 III	I
法福(福島)③	12/28 12:50 III	
州学朝九(福)③	1/1 14:45	II
州学朝九(福)④	12/28 14:15 I	
州学朝九(福)⑤	12/30 15:45 I	

丸数字は出場回数、◎は初出場
全試合30分ハーフ、I、II、IIIは使用グラウンド
準々決勝以降の組み合わせは抽選

2023年(令和5年)12月22日金曜日

南信州新聞

飯田OIDE長姫高

統合以来初の合格者

前沢さん 第三種電気主任技術者取得

飯田OIDE長姫一た。また、日本電気一技術者協会が工業高
 高校電気電
 子工学科3
 年の前沢拓
 さん(18)
 が、第三種
 電気主任技
 術者免許の
 資格を取得
 した。取得
 が難しいこ
 とで知られ
 る資格で、
 10周年を迎
 えた同校で
 は統合以来
 初めての合
 格者となっ



第三種電気主任技術者の資格を取得した前沢さん(左)

校生で同資格の取得者にも贈る「霜寿賞」も受賞。20日、前沢さんが松原均校長に報告した。

試験は理論、電力、機械、法規の4科目全てで合格する必要があり、全体の合格率は10%ほど。高校生は年間50人前後しか合格することできない狭き門という。

前沢さんは「試験範囲が広いのでモチベーションを保つのが大変だった。合格

する姿を思い浮かべながら勉強に取り組んだ」と振り返り、松原校長は「高校生での取得は至難の業。学校全体の喜びだ」とたたえた。

高校卒業後は信州大学工学部への進学が決まっており「高校で学べなかったことを学びたい。上の資格にも挑戦したい」と意気込みを語った。

商業科 地域人教育成果発表会を開催

2023年(令和5年)12月23日 土曜日

南 信 州 新 聞

地域での学びの成果披露

飯田 OIDE 長姫高校商業科が飯田市と松本大学の協力を受けて取り組む「地域人教育」の成果発表会が21日、飯田市鼎文化センター

であった。市内各地区をフィールドに課題解決などに取り組んだ3年生が、協働した地域住民らを前に経過や成果などを披露した。

飯田OIDE長姫高

商業科の「地域人教育」

この日は、市内6地区と全市などで活動を展開した計10のグループが発表した。

このうち中心市街地のグループは、中心市街地(丘の上)のにぎわい創出や周遊者の増加を目指す研究から、「体験型謎解きゲーム」を発案した。

謎解きや体験型イベントが全国的に流行し、参加者が年間500万人以上、市場規模が500億円を超えている点に着目。町おこしや地域振興への応用も視野に入れた。

テーマを決めた際、課題として浮かび上がったのは、人口減少と施設利用者数、中心市街地の歩行者通行量。人口減少の程度は2008(平成20)年度を100としたとき、19(令和元)年度は84・6%にまで落ち込んでいるとし、また、主要施設の利用者がいるにもかかわらず、歩行者通行量が減少している現状を把握した。

飯田市商業観光課やセイコーエプソン、システム・サイエンス、クレストックといった民間企業の協力も得ながら、中心市街地の魅力再確認をベースに、施設のほか、店舗なども巻き込み、イベントとウォークラリーを組み合わせた体験型謎解きゲームを完成。11月に中心市街地で開かれた「丘の

まちフェスティバル」で検証した。

当日は会場にブースを構え、体験者にアンケート調査を実施。「また丘の上を歩きたい」、「別の店を訪ねてみたい・探してみたい」と答えた参加者が一定数いたことを報告し、「こうしたゲームがツールとして普及することに期待したい」と締めくくった。

【地域人教育】 高校生が地域理解を深め、地域での生き方を考え、郷土愛を育み、地域活性化や社会に貢献できる人材の育成を目的とした教育プログラム。3者のパートナーシップ協定により、前身の飯田長姫高校時代から始まり12年目を迎えた。



市内をフィールドにした活動成果を発表



商業科地域人教育 豊栄稲荷絵馬を考案

南信州新聞

2023年(令和5年)12月23日 土曜日

オリジナル絵馬で魅力発信

豊栄稲荷神社 O長生が鼎中へ贈る



生徒と支部会員で神事を行った



生徒がデザインした絵馬

飯田OIDE長姫
 高校商業科3年生7
 人は、飯田商工会議
 所鼎支部の建物北側
 にある豊栄稲荷神社
 (下茶屋)にちなん
 だオリジナルの絵馬
 を作成した。同支部
 の会員のサポートを
 受けながら、デザイ
 ンを考案。20日は神
 事で絵馬の祈禱をし、翌21日に鼎中

校3年生118人に
 届けた。
 地域活性化や地域
 社会に貢献できる人
 材を育成する教育プ
 ログラム「地域人教
 育」の一環。これま
 で地区内の放置竹林
 を活用した屋台づく
 りや、同支部とJRR
 東海のサポートを受
 けて作成した「ゆめ
 かなえ切符」を地区

文化祭で販売。課題
 や魅力を探り、自分
 たちに取り組めそう
 なことを考えてき
 いた。
 絵馬づくりは、同
 神社のことを知って
 もらおうと作成し、
 高校受験を控える鼎
 中学校3年生に配つ
 た。
 絵馬の表にはキツ
 ネの顔と、生徒が考

えた同神社の愛称
 「ゆめかなえ神社」
 の文字をデザイン。
 裏面にしっぽと「大
 願成就」を据えた。
 この日の神事には
 生徒と同支部会員な
 ど約15人が参加。厳
 かな雰囲気で祝詞が
 奏上され、代表者が
 玉串奉てんを行っ
 た。

同支部の吉澤和人
 支部長(65)は「神
 社に着目してくれて
 うれしい。若い世代
 のアイデアで活性化
 につなげていけれ
 ば」と話していた。
 淵田純也さん(17)
 は「地域の方の力も
 あって、皆で作成で
 きてよかった」、西野
 楓さん(18)は「絵
 馬に」パワーを込め
 たので受験を頑張っ
 てほしい」と話して
 いた。

全国高校ラグビー大会 開幕

南 信 州 新 聞

2023年(令和5年) 12月28日 木曜日

OIDE 長姫

57年ぶりの大舞台 全国高校ラグビーが開幕



力強く芝を踏みしめた飯田OIDE長姫の選手たち



記念撮影をする選手たち

第103回全国高校ラグビー大会(日)が27日、大阪府の東大阪市花園ラグビー場で開幕した。長野県代表の飯田OIDE長姫は、全国の高校ラグビー

の芝を踏みしめ、全国の強豪校とともに堂々と整列した。初日は1回戦9試合が行われ、OIDE長姫は2日目28日に登場する。新型コロナウイルスの影響により中止が続いていた開会式は4大会ぶりの実

施。一部簡略化し、入場行進は場内を回らず、整列した選手たちが前進する形式で行った。

午前10時、色とりどりのジャージーに身を包んだ全国51校の選手たちがグラウンドに整列すると、青のジャージーのOIDE長姫は、県大会優勝旗を手にした松村悠佑選手(3年)と、プラカードを持ったマネージャーの佐々木幸雪さん(同)を先頭に、力強く芝を踏みしめて

進んだ。連覇を狙う東福岡の優勝旗返還に続き、全国高等学校体育連盟の鈴木康司会長、日本ラグビー協会の山本巧副会長らが激励。選手宣誓では秋田工の大沢空主将が「全国から集まった仲間と応援してくれる人たちへの感謝を込め、私たちにしかできない最高の103回大会にし、高校ラグビーの歴史をつなぐ」と誓った。

OIDE長姫は3年生が日替わりで主将を務めている。11月の県大会決勝で主将だった野牧聖太選手は「いい雰囲気調整ができています。相手は強いが、自分たちから積極的に攻めていきたい」と力を込めた。

この日、OIDE長姫は試合がなく、天理大学のグラウンドで最終調整した。28日の1回戦で高川学園(山口)と当たる。午前11時25分から。

初戦 高川学園(山口)と対戦

南 信 州 新 聞

2023年(令和5年) 12月29日 金曜日



57年振りに花園で戦ったOIDE長姫の選手たち



選手たちに声援を送った応援席

OIDE長姫 57年ぶり出場も初戦敗退

全国高校ラグビー 山口・高川学園に敗れる

第103回全国高校ラグビー協会など 阪市花園ラグビー場
校ラグビー大会(日主権)は28日、東大で1回戦10試合を行

った。長野県代表の飯田OIDE長姫は、高川学園(山口)と対戦。0-75で敗れ、57年ぶりの出場も初戦を突破す

ることではできなかった。相手の高川学園は、初出場ながら留学生選手や高校日本代表候補のフルバックを擁し、7人制の全国大会でも16強入りした実力校。中村光希監督は「タレントぞろいの格上の相手」と分析し、「自陣でボールを回してくる時にプレッシャー

を掛け、ミスを誘ってアタックをしかけた」と作戦を練っていた。その言葉通り、序盤から相手のミスを見逃さずに敵陣に攻め込んだ。CTB野牧聖太選手らが突破してチャンスをつくるなど、立ち上がりは互角に戦ったが、トライを決めることはできず。逆にノックオンや反則でボールを奪われ、前半8分に先制を許すと、素早く展開する相手の猛攻を止めきれず、得点を重ねられた。後半は7トライを奪われ、突き放される展開になった。それでも選手たちは闘志を失うことなく、体格で勝る相手に果敢にぶつかった。後半23分には22歳ライオンからボールを回し、ゴール手前5メートルまで前進したが、ゴールラインを割ることができなかった。試合後、中村監督は「前半は思っていた以上に勝負になっていたが、ペナルティーで簡単に下がってしまった。半世紀ぶりの全国だった。簡単ではないと感じた」と話した。その上で「体重、高さで勝る相手に自分たちがやってきたことを発揮できなかった。最後まで体を張ってくれた」と選手たちをねぎらいい、「自分たちはこれからスタート。今日のように泥臭く地味なところを徹底していきたい」と前を向いた。

OIDE長姫は今季から、3年生の日に替わり主将制を導入。この日は日吉田千凌選手が務めた。吉田選手は悔し涙を流しながら「体の大きな選手にも果敢にディフェンスし、何度もゴール前に迫れたことは自信になった」と振り返った。中村監督いわく「無口でシャイ」という吉田選手だが、前日に自ら手を上げた。主将に志願したのは初めてだといいい、「やってよかった。成長できたということだと思つ。後輩には「一人一人が自分がチームを引っ張っていくという気持ちを持つてほしい」と願った。会場には保護者やOB、同窓生らが応援に駆け付け、横断幕を掲げたり声援を送つてもり立てた。ノーサイドの笛が鳴ると、大きな拍手で一生懸命戦った選手たちをたたえた。

▽1回戦 花園ラグビー場
OIDE長姫 0-75 高川

全校課題研究発表会を開催

2024年(令和6年) 1月21日 日曜日 南信州新聞

飯田OIDE長姫高

総合技術校ならではの視点で

全校課題研究発表会

飯田OIDE長姫高校(松原均校長)は19日、全校課題研究発表会を開いた。各学科3年の代表生徒たちが、総合技術高校ならではの学科の特徴や特色を生かした研究成果を披露。生徒や保護者、研究者に協力した企業担当者が聞いた。

飯田OIDE長姫高校(松原均校長)は19日、全校課題研究発表会を開いた。各学科3年の代表生徒たちが、総合技術高校ならではの学科の特徴や特色を生かした研究成果を披露。生徒や保護者、研究者に協力した企業担当者が聞いた。

機械工学、電子機械工学、電気電子工学、社会基



全校課題研究発表会

た。

このうち、電気電子工学科と社会基盤工学科からなる学科連携のグループは「太陽光発電を利用した地域貢献」をテーマに、太陽光パネルを製作し、地域の公園に設置する目標を立てた。

飯田下伊那地域は日照時間の長さなどから太陽光発電に適した地域といわれているが、普及率は低く、「自分たちの研究を通して太陽光発電を広めていきたい」と太陽光に着目した動機を語った。太陽光パネルにした理由については、公共の場に置くことで、災

害時に電気を供給できるようになること、憩いの場としての利用も見込めることなどを挙げた。

製作では、ベンチ背面に太陽光パネルを取り付け、蓄電された電力を外灯やUSB、コンセントに使用できるように工夫した。使用する太陽光パネルに合う、インバーターやバッテリーなどの規格についてや配線方法は、飯田市鼎下茶屋のエムアイ電気が助言した。

ベンチや太陽光パネルを設置する部分は完成し、表面に防錆・防雨効果のある塗料を塗った。今後は配線やコンセント、外灯の設置に取りかかる予定という。これまでに見えている課題としては、雨や雪から防護するための配線、ベンチ中央にコンセントを設置し安全に利用できるようなするなど挙げた。

代表生徒は「SDGsの取り組みの一端として地域貢献できたらうれしい。災害時の利用のほか休憩スペースとしても利用してもらえ。これをきっかけに太陽光を身近に感じてほしい」と話していた。

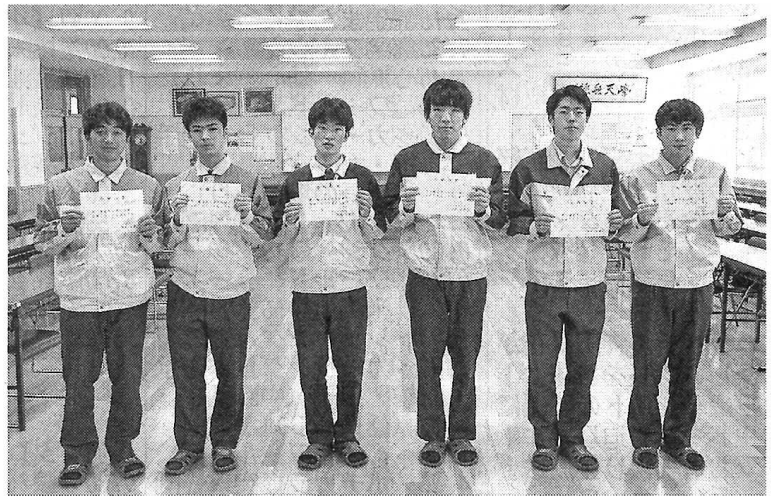
第一種電気工事士に 6人が合格

2024年(令和6年)2月1日木曜日

南信州新聞

難関資格に6人合格

OIDE 長姫高 電気工事士として地域のために



第一種電気工事士の資格を取得した6人

飯田OIDE長姫高校の生徒6人が国家資格の第一種電気工事士試験に合格し、1月30日、松原均校長に報告した。合格したのは、田中朔斗さん(電気電

子工学科3年)、小室快斗さん(電子機械工学科3年)、西永悠希さん(同2年)、山内心太さん(電気電子工学科2年)、高木稜さん(同1年)、野口厚気さん(同1年)。

子工学科3年)、小室快斗さん(電子機械工学科3年)、西永悠希さん(同2年)、山内心太さん(電気電子工学科2年)、高木稜さん(同1年)、野口厚気さん(同1年)。

試験勉強は昨年夏ごろから本格的にスタートした。学校で仲間とともに筆記試験対策をし、各家庭でも猛勉強して10月の試験をクリアした。

第一種電気工事士は、高電圧設備の工事に従事するために必要な国家資格で、試験は年1回のみ行われる。

月間の集中特訓を行って技術を身につけ、12月の試験に合格した。報告会では田中さんが「今後はこの資格を生かして地域のために働きたい」と6人を代表して決意を語った。資格を取得した3年生2人は、春から地元企業への就職が決まっている。松原校長は「この資格を世の中のために有効に活用してほしい。また、さらなるチャレンジにも期待している」と激励した。

地域と教育の関わりは

上郷フォーラム 住民が生徒らの発表聞く

飯田市上郷公民館は25日、本年度の「上郷地区地域づくりフォーラム」を同館で開いた。これからの人づくり・地域づくり」をテーマとし、小中高生が地域をフィールドにした探究学習の成果を発表。住民ら約100人が参加し、教育と地域の関わり方を考

えた。フォーラムは住民と地域課題を共有する目的で毎年開き、31回目。今回は学校で導入が進んでいる地域密着型の探究学習を住民に知ってもらうとテーマに据えた。上郷小学校と高陵中学校、飯田OIDE長姫高校の児童生徒らがそれぞれ成果を発表した。このうち、上郷地区をフィールドに地域人教育に取り組んだOIDE長姫高校の商業科3年7人は1年間の実践成果を報告。地区のイベントでスタンプリング大会や野底深山湧水の「利き水大会」を企画したり、店舗と

協力してパンを開発したりと地区の魅力発信に取り組んできた。発表ではスクリーンに画像を映しながら



地域学習の成果を発表する高校生

ら活動を紹介。メンバーの一人、松岡大晟さん(18)は「活動を通して人と人とのつながりの大切さを知ることができた。私たちも将来、上郷で出会った方々たちのように誰とでも笑顔で一緒に活動できる大人になりたい」と感想を語った。山浦貞一公民館長は「近年は子どもたちが地域に出る教育に変わってきている。地域の皆さんに今の教育を知ってもらい、地域密着の教育に住民がどのように貢献できるかを考えるきっかけになったら」と話していた。

上郷小は地区の探究学習に取り組んだ2年生が、高陵中は個人探究学習で地域をテーマにした生徒2人がそれぞれ成果

商業科3年生地域人教育の活動成果を上郷フォーラムで発表

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校



祝 20人合格

第二種電気工事士 2023年度下期試験

2024年(令和6年) 3月3日 日曜日

南 信 州 新 聞

飯田OIDE長姫高

飯田OIDE長姫高
校の生徒20人が昨年12
月の第二種電気工事士
下期技能試験に合格
し、2月29日、松原均
校長に喜びの報告を行
った。
同校で開かれた報告

会で、電気電子工学科3
年の遠山雄正さん(18)
は「資格取得への挑戦を
通して学んだことを、こ
れからの進路や今後の進
路選択に生かしていきたい
と語った。学科対策とし
てオンラインによる自

約68%だった。
3年生5人の計20人が合
格した。全国の合格率は
約68%だった。

第二種電気工事士下期技能試験

20人が国家試験合格を報告



第二種電気工事士の資格を取得した生徒たち

宅学習に励み、技能
試験対策では、す
でに合格している生徒
からの指導も受け、
休日も使いながら約
1カ月間の集中技能
特訓に打ち込んだ。
合格した生徒たち
の表情を見た松原校
長は「資格取得は難
しければ難しいだ
け、その価値は上
がる」と努力をたた
え「次の取得へ
のステップアップを
考えた時に、この経
験は必ず生きる。資
格を糧に、大きく飛
躍してほしい」と激
励した。

第二種電気工事士
は屋内電気配線工事
に従事するために必
要な国家資格。試験
は年に2回実施して
いる。試験は学科試
験と技能試験で構成

黒澤響冴さん(3年機械工学科)

国体(自転車競技)成績を報告

2024年(令和6年) 3月9日 土曜日

南 信 州 新 聞

喬 木 村

県代表として国体で健闘

自転車 黒澤さん 体操 松澤さん

国体に出場した黒澤さん(中央右)と松澤さん(中央左)



役場を訪れて市瀬直史村長に結果を報告した。黒澤さんは自転車競技で90キロを走る「ロードレース」とトラックを周回する「スクラッチ」に出場。結果はロードレースが77人中33位、スクラッチは決勝に進出し、18人中11位だった。両部門とも県予選で28位だった。松澤さんは「仲間と一緒に頑張った。春からは長野東高校で競技に打ち込

む予定で「鉄棒が苦手なためもうとうまくなれるよう頑張りたい」と語った。市瀬村長は、新たなステージで競技を続ける2人に「また全国大会に出場したら役場に報告に来て」と呼び掛け、「これからも体に気を付けて頑張ってほしい」とエールを送った。

からは自転車競技の強豪日本大学に進学する。大学では「競輪選手になるためのペースづくりに取り組みたい」と話した。松澤さんは体操競技の少年男子団体総合に県代表チームとして出場。少年男子は高校生まで出場できるが、中学生ながら代表メンバーに選ばれた。同種目は各チーム5人が6種目を行い、総合の点数で競う。松澤さんは「平行棒」での演技の出来栄や正確さが高く評価されるなどの活躍を見せた。チーム成績は29チーム中

鹿児島県で昨年開かれた「特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体」に出場した喬木村の黒澤響冴さん(18)は、飯田OIDE長姫高校3年と松澤蒼史さん(15)は、喬木中学校3年が6日、村

は優勝しており「自信を持って挑むことができた」という黒澤さん。将来の夢は競輪選手で、この春

は優勝しており「自信を持って挑むことができた」という黒澤さん。将来の夢は競輪選手で、この春

は優勝しており「自信を持って挑むことができた」という黒澤さん。将来の夢は競輪選手で、この春

は優勝しており「自信を持って挑むことができた」という黒澤さん。将来の夢は競輪選手で、この春

2024年度 後期選抜合格者

おめでとう 高校合格



地域人教育の成果発表会(商業科)

飯田OIDE長姫

幅広い教養と高い専門性追求

産業界を担う人材を輩出

旧飯田工業と旧飯田長姫の統合により、県内初の総合技術、日制6科と定時制1

術高校として2013年には、「幅広い教養と高い専門性を追究し、社会に開かれた学びを通して平和な未来に貢献できる豊かな人材を育成する」を掲げる。

地域産学官と異業種と協働して新しい付加価値を創造する「協創力」、探求型プロジェクトを育成する。

「高度な専門性」、未

来の地域人教育の実

践を通して主体的な

「課題解決力」の3

つを柱とした「地域

協創スペシャリス

ト」を育成する。

全日制は、機械工

学、電子機械工学、

電気電子工学、社会

基盤工学、建築学、

商業の計6科。機械

工業は設計、製図、加工、材料などを学び、産業界を担う機械技術者を目指す。電子機械は機械や電気電子に加え、制御や情報技術を学び変革に対応するものづくり人材を育成。電気電子工学は情報通信、電子回路、制御、電力の4つを柱に総合力を培う。

社会基盤工学は、安全安心な土木構造物を造る技術を学び社会に貢献できる人材を育成する。建築学は、2級建築士や2級建築施工管理技士に合格レベルを目指す。

商業は、簿記や情報をはじめ専門性の高い資格取得を目指す。地域をフィールドにした「地域人教育」で「自ら考え、行動できる」力を身に付ける。

定時制は、普通科と基礎工学科を統合した単位制普通科による「多様な学びの場」。基礎学力の定着だけでなく、簿記や情報処理などの商業科目、ものづくりの基礎まで幅広い学びができる。

バッテリーカーやマイコンカーなど全国大会での活躍や難関資格の合格、地域人教育の取り組みなど、常に明るい話題を提供している。テックレンジャーは子どもたちに人気だ。



サイバー犯罪撲滅に取り組むテックレンジャー

159人合格

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校

「やり抜く力得られた」

飯田OIDE長姫

統合後初の技能
検定2級合格

機械工学科の宮下さん

飯田OIDE長姫

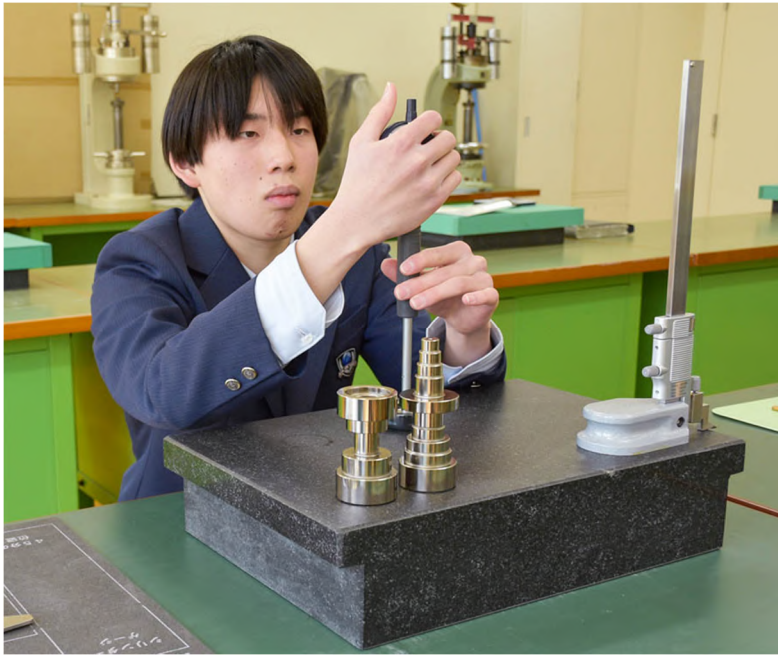
高校機械工学科3年の宮下遼佳さん(18)が、国家検定「技能検定2級(機械検査作業)」に合格した。21日に松原均校長から合格証書を受け取った。

技能検定2級は難易度が高く、全国の合格率は約20%。宮下さんは、高校生では工業高校でしか取得できない機械検査作業と普通旋盤作業の各技能検定3級を2年時に取得してい

た。

3年生になり進路が決まった後も、10月から1月にかけて勉強。放課後に飯田市座光寺のエス・バードへ通い、

社会人に混ざって2級合格に向けて計90時間程度を積み重ねた。緻密な作業が求められる、図面の要求通りの再現が問われ



技能検定2級に合格した宮下さん

ることから、1000分の1まで測定

できる機械も扱えるようになった。

1月に学科試験、2月に技能試験を行い、今月8日に合格の報を聞いた。自身もホームページで確認し「合格の実感が

湧いた。高校生活で成し遂げられたことはうれしかった」と振り返った。

卒業後は静岡市清水区にある国立清水海上技術短期大学校へ進み、航海士や機械士を目指す。今回の資格取得が直接役に立つかはわからないとしながらも「これからの人生でやり抜く力が得られた。自信につながった」と笑顔で語った。

機械工学科3年 宮下遼佳さん

パソコン技術部エス・バードのロゴ制作に協力

世界へ「羽ばたく」拠点に

OIDE長姫高パソコン技術部 エス・バードのPRロゴ制作

南信州・飯田産業 センターは25日、産 業振興と人材育成の 拠点「エス・バー ド」(飯田市座光寺) のPR用ロゴを発表 した。「S・Oバディ プロジェクト」とし て飯田OIDE長姫

高校パソコン技術部 の生徒がロゴを制 作。飯田下伊那地域 の地図を鳥に見立 て、全国や世界に羽 ばたく拠点になって ほしいとの思いを込 めた。同センターは施設

の認知度向上に向 け、PRロゴの制作 を計画。高校再編で 旧飯田工業高校校舎 が新たな拠点に生ま れ変わった経緯も踏 まえ、同校に制作を 依頼した。 プロジェクト名の Sはエス・バード、 Oは同校を意味し、 生徒たちは2023 年4月に活動を開 始。検討や修正、磨 き上げを重ね、今年 2月に完成した。ロ ジカランド(同市上 郷別府)のデザイナー ナー、鈴木啓介さんが 指導で協力した。 生徒たちは最終的 に計8点を制作。そ の中からセンター職 員28人の投票で決め た。

出来上がったロゴ は「南信州が鳥のよ うに世界へ羽ばたく 拠点を目指して」が あるものを形にする

の足に見立てた。 生徒たちにとって ロゴデザインは初め ての経験で、全部員 37人中、1・2年の 7人が中心になって 制作。昨年7月の施 設見学を踏まえ、9 月頃から本格的に取 り組んだ。頭の中

には難しく、話し合 いの中で他人の視点 を取り入れ、アイデ アを磨いていった。 部長の2年新田安 軌人さん(17)は「何 度も検討や修正を重 ね、一つのロゴを作 るのは大変だった」と振り返り、「ロゴで エス・バードと高校 をより広く知って も らえたら」と期待し た。



ロゴを制作したOIDE長姫高校パソコン技術部の生徒たち



発表されたPR用ロゴ



世界へ羽ばたく南信州・飯田産業センター

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校